

# YAMAGATA QUEST

山形県企業立地ガイド

山形県の交通

山形のものづくり

企業を支える優れた人材

データで見る立地環境

山形県の優遇制度

創造の山  
理想の形



## 新たな事業展開をお考えの皆さまへ

山形県は、蔵王山、月山、鳥海山など日本百名山に数えられる秀麗な山々に囲まれ、母なる川「最上川」が流れる美しい自然に恵まれた地域です。そこでは、人の住む集落、市街地と農地や里山が綾をなし、自然と人間が調和して存在する「もう一つの日本」が広がっています。

この豊かな県土には、約950年前（平安時代）の山形鑄物に遡る歴史に裏打ちされた確かな技術が根付いており、勤勉な県民性と相まって、東日本有数のものづくり集積地となっています。

山形県では、このような“ものづくりの強み”や“優れた人材”などの山形の優位性を活かし、新たな産業発展の基盤づくりに取り組んでいます。

豊かな自然と技術の集積が調和する山形県の立地環境は、貴社のビジネスチャンスを活かすうえで最適な環境です。

私たちは、皆さまからのご相談・ご要望などにワンストップで迅速かつ柔軟に対応させていただくとともに、様々な支援制度を準備して、皆さまの新たな事業展開のお手伝いをさせていただきたいと思います。

皆さまのご来県を心よりお待ちしています。



山形県知事 吉村美菜子

### 全国から見た山形県のすがた

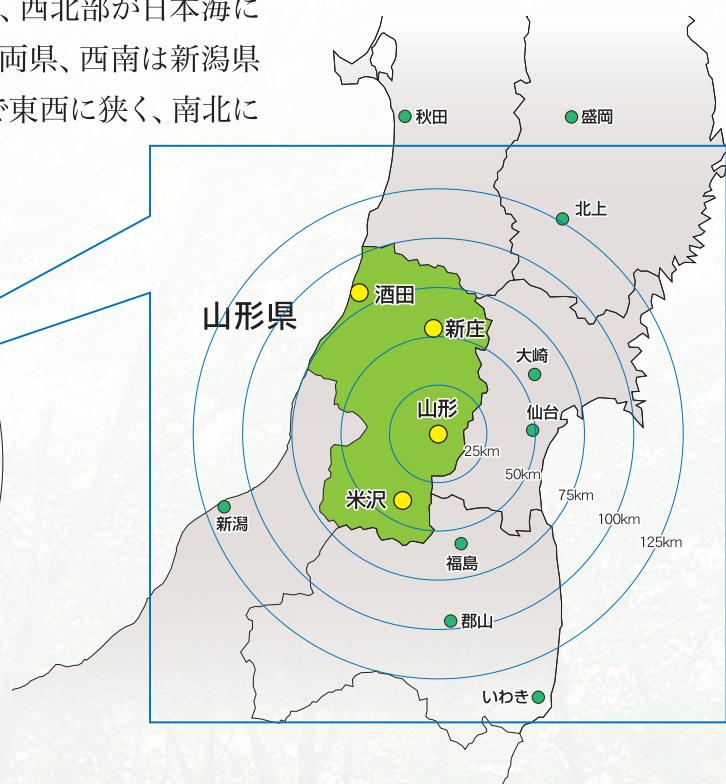
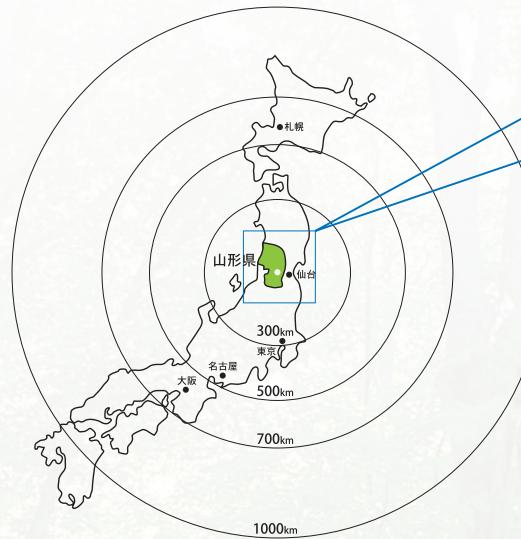
項目		単位	年次	全国	山形県	順位	1位
人口	総人口	万人	R3	12,550	106	36	東京
	総面積 1 km <sup>2</sup> 当たり人口密度	人	R3	336.5	113.2	42	東京
	15歳未満人口密度（対総人口）	%	R3	11.8	11.1	38	沖縄
	15～64歳人口密度（対総人口）	%	R3	59.4	54.6	38	東京
	65歳人口密度（対総人口）	%	R3	28.9	34.3	6	秋田
労働	第1次産業就業者比率（対就業者）	%	R2	3.4	8.6	7	青森
	第2次産業就業者比率（対就業者）	%	R2	23	28.1	12	富山
	第3次産業就業者比率（対就業者）	%	R2	70.6	61.4	46	東京
	県内就業者比率（対就業者）	%	R2	88.4	97.1	3	新潟

資料：総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた2023」

日本一のブナの天然林

# 地勢

山形県は、本州東北部の日本海側に位置し、西北部が日本海に面している。北は秋田県、東南は宮城・福島の両県、西南は新潟県にそれぞれ隣接し、東西97km、南北164kmで東西に狭く、南北に長い地形。



## 特産品



さくらんぼ

日本一の生産量を誇る、言わずと知れた山形の特産品。中でも人気なのが、ルビー色に輝く「佐藤錦」。そのおいしさは間違いなく「フルーツの王様」。



だだちゃ豆

近年、ますます人気沸騰中の枝豆。夏の旬の味覚として全国に定着している。ちなみに「だだちゃ」とは鶴岡の方言で「お父さん」の意味。



ラ・フランス

さくらんぼが「フルーツの王様」なら、こちらは「フルーツの女王」。見た目の素朴さとは裏には濃厚な甘みがあり、香りがとても豊か。生産量日本一の山形で本場の味を。



米沢牛料理

西の松阪、東の米沢といわれる絶品の米沢牛。愛情豊かに育てられた米沢牛は肉質が引き継まり細やかな味覚が身上。

## 祭り



新庄まつり

毎年8月24~26日にかけて開催され、その起源は約260年前まで遡る。国重要無形文化財に指定されているほか、平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録された。



米沢上杉まつり

川中島の合戦をメインに松川河川敷で開催される一大歴史絵巻。上杉行列や武縄式等も勇壮。体験観光として参加が可能。



花笠まつり

ヤッショマカヨの掛け声とともに最高峰に盛り上がる真夏の夜の祭典。フラワーハットダンスとして、世界的に有名。



日本一の芋煮会フェスティバル

直径6.5mの大鍋で一度に3万食以上をつくる日本一の芋煮会。芋煮会のメッカ山形市馬見ヶ崎川の河原で開催される。

## 名勝・文化



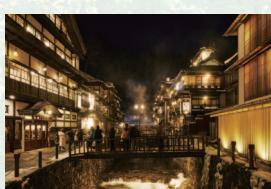
出羽三山（写真：羽黒山の石段と杉並木）

出羽三山は羽黒山、月山、湯殿山の総称。平成28年に国宝「羽黒山五重塔」等の文化財群とともに日本遺産に認定された。



山寺

山寺唯一の舞台式御堂の五大堂。切り立った百丈岩の岩上にあり、山寺隨一の展望台である。



銀山温泉

大正ロマン漂う温泉で、ガス灯に照らされる夕景色や、雪の温泉街はまさに絶景です。



蔵王温泉スキー場

樹氷を見ながら滑ることのできる全国有数のスキー場。風情ある温泉街もスキー客に人気です。

# 山形県の交通

東京駅から山形新幹線に乗車し約2時間で山形県に入ります。空路なら、おいしい庄内空港、おいしい庄内空港と二つの玄関口があるのも山形の特徴です。高速道路は、山形自動車道、東北中央自動車道と日本海東北自動車道が県を縦横に走っています。山形市と隣接する仙台市からは、多くの便がある高速バスが便利です。

## 山形県へのアクセス



## 鉄道



### 山形新幹線つばさ

駅名	所要時間	運転数
東京↔米沢 (名古屋↔米沢)	1:52 (3:35)	1日 16往復
東京↔山形	2:22	1日 16往復
東京↔新庄	3:07	1日 9往復

## 空路

### おいしい庄内空港航空路線 (航空会社: ANA)

都市名	所要時間	便 数
東京（羽田）	60分	1日4往復

### おいしい山形空港航空路線 (航空会社: JAL・FDA)

都市名	所要時間	便 数
東京（羽田）	60分	1日2往復
大阪（伊丹）	75分	1日3往復
名古屋（小牧）	65分	1日2往復
札幌（新千歳）	75分	1日1往復

## 山形県内・都市間の所要時間（自動車）

### 道 路



山形自動車道

### 主要都市への所要時間（自動車）

	酒 田	新 庄	山 形	米 沢
東 京	5:40	5:00	4:10	3:40
新 潟	2:40	3:30	3:10	2:40
秋 田	1:50	2:00	3:10	—

(注) 県内都市から東京間については、東京外環自動車道大泉ICを起点とする  
(資料: 平成27年度全国道路交通情勢調査ほか)



### 高速バス（山交バス株式会社・宮城交通株式会社） 2024年4月1日改正

	所要時間	運転数※	
		平日	73往復
仙台↔山形 (仙台駅前↔山形駅前)	1:08	土日祝日	60往復

※一部便の運休あり

# 山形県の重要港湾 酒田港

山形県唯一の重要港湾である酒田港は、日本海側の物流拠点として「国際定期コンテナ航路」や「定期内航フィーダー航路」などにより、世界各国や九州、関西地方と結ばれています。

また、国から「リサイクルポート」の指定を受け、隣接する酒田臨海工業団地にはリサイクル関連企業が進出しているほか、令和6年4月26日には国から洋上再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾、いわゆる「基地港湾」の指定を受け、エネルギーポートとしての発展が期待されています。

## 物流の2024年問題とは

平成30(2018)年6月改正の「働き方改革関連法」に基づき、令和6(2024)年4月1日から「時間外労働時間」について年間960時間の上限規制が適用されました。

「時間外労働時間」と「拘束時間」の義務化によりトラック貨物の輸送能力不足が懸念され、社会に与える影響が大きいとされているのが、「物流の2024年問題」です。

## 酒田港のモーダルシフト

令和6(2024)年5月10日に酒田港初の内航フィーダー航路が開設され、物流の2024年問題を解決する一つの方法として、長距離トラック輸送から海上輸送に転換するモーダルシフトが実現できるようになりました。

関西や九州地方への国内貨物の輸送が可能になり、さらに輸出入貨物については、従来の釜山(釜山)トランシップに加え、福岡県の門司港や博多港でトランシップし、世界各地と結ぶことが可能です。

### LCL(小口混載貨物)輸出サービス 世界350か所

#### 釜山トランシップ航路 週2便



#### 門司・博多トランシップ航路 週1便



## 環境対策のモーダルシフト

モーダルシフトは、物流問題の解決策のみならず、低炭素輸送の実現による二酸化炭素の排出量を大幅に削減でき、地球温暖化対策に大きく寄与します。

208

43

## CO<sub>2</sub>排出原単位(g-CO<sub>2</sub>/トン・km)【2022年度実績】

貨物輸送において、各輸送機関から排出される二酸化炭素の排出量を輸送量(トンキロ：輸送した貨物重量に輸送距離を乗じたもの)で割り、単位輸送当たりの二酸化炭素の排出量を試算したもの。

【出典】国土交通省総合政策局環境政策課

※酒田港の詳細は「プロスパーポートさかた」ポートセールス協議会のホームページをご覧ください。( <http://www.port-of-sakata.jp/> ) または「ポートさかた」で検索

## ●令和6年度 コンテナ貨物利用促進助成制度

助成対象期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

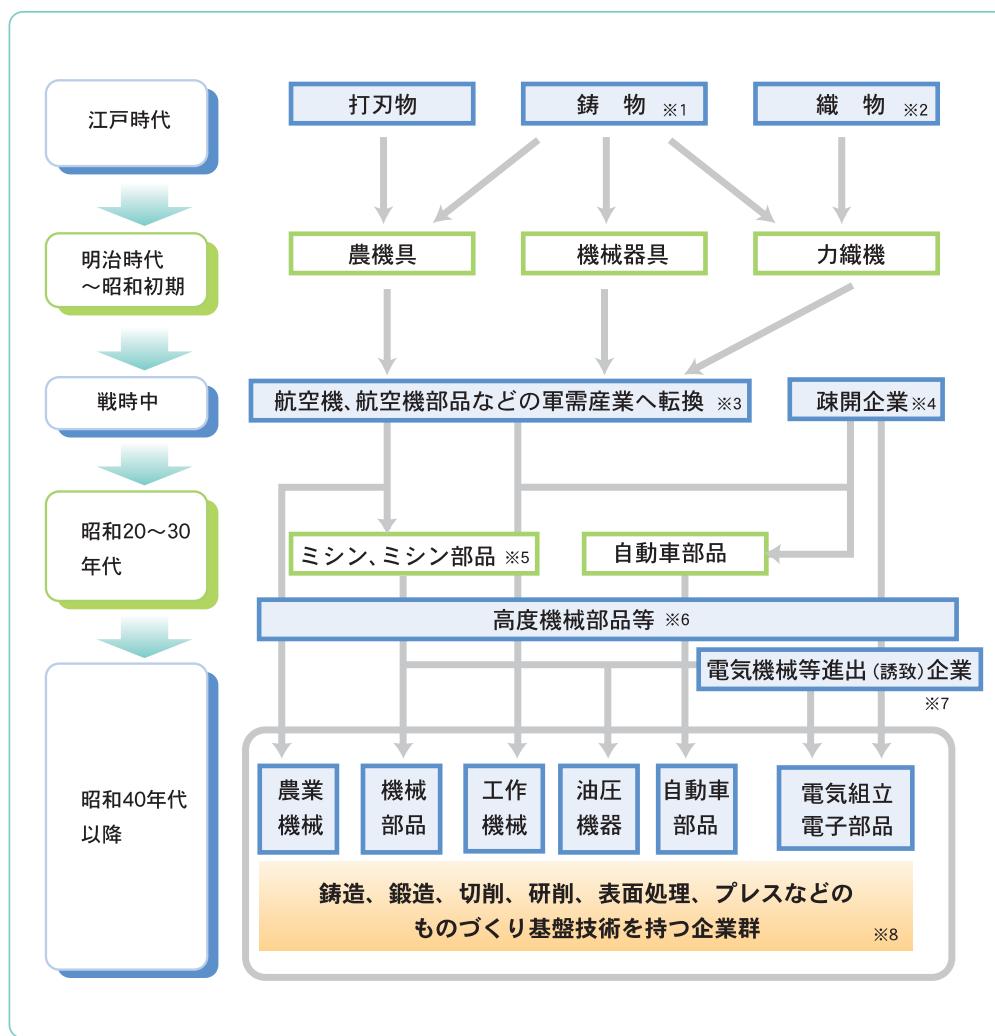
助成区分	荷主			LCL貨物
	FCL貨物		モーダルシフト等促進助成【新】	
名称	コンテナ転換支援助成	陸送費助成	モーダルシフト等促進助成【新】	小口混載貨物(LCL)助成
趣旨	バルク船からコンテナ船へ転換を促し、コンテナ貨物量の増加を図る。	酒田港から発着地までの陸送距離に応じた助成を行い酒田港利用を促す。	物流の2024年問題に対応してトラック陸送から海上輸送へモーダルシフトを促し、コンテナ貨物量の増加を図る。	小口混載貨物輸出サービス利用荷主を助成し、小口混載貨物輸出量の増加を図る。
対象・要件	①～③を全て満たす荷主 ①バルクの貨物品をコンテナ貨物で輸送 ②貨物重量が150t以上/回 [20ft9個又は40ft8個以上/回] ③酒田港のコンテナ貨物量が令和4年度より増加	年間30TEU以上利用した荷主	①又は②を満たす荷主 ①過去5カ年度の最高貨物量比で30TEU以上かつ2割以上増加 ②過去5カ年度に酒田港未利用で令和6年度に貨物量が30TEU未満の荷主	酒田港の小口混載貨物輸出サービスを利用した荷主
助成対象貨物量	上記②に該当する利用貨物量の合計(TEU)	利用貨物量(TEU)	過去5カ年度の最高貨物量超過分(TEU)	利用貨物量(m <sup>3</sup> 又はt)又はt
助成単価	20,000円/TEU	酒田港⇒発着地(片道距離) 50～100km未満：3,000円/TEU 100～150km未満：6,000円/TEU 150km以上：9,000円/TEU	①20,000円/TEU ②10,000円/TEU	5,000円/m <sup>3</sup> 又はt
上限額	500万円/荷主	100万円/荷主	100万円/荷主	20万円/荷主
申請期間	2024年6月～12月20日		2024年6月～2025年3月10日	

(注1)「陸送費助成」と「モーダルシフト等促進助成」のみ重複申請可能です。

(注2)助成金交付は予算の範囲内で実施します。

## 山形のものづくりの成り立ち

山形県のものづくり発展の歴史は、約950年前（平安時代）の「山形鎌物」に遡ります。明治時代に入ると、鎌物の技術を応用した農機具の製造が盛んになり、戦時中は航空機や航空機部品等が製造されるようになりました。戦後は、航空機から発展したミシン産業が全国に名を馳せました。そこで培われた多種多様で確かな技術が、現在の山形のものづくりを支えています。



※1 本県機械工業は、鎌物から派生した「農機具製造」と「機械鍛冶」が土台

※2 「米沢織物」を中心に発展した織維工業と融合し、「織機」の開発につながる

※3 戦時体制下においては、航空機用発動機部品などを生産

※4 高い加工技術を持つ疎開工場の定着と地元企業への技術移転

※5 戦後、軍需工場は、農業、食品加工、織維工業向けの機械生産に転換 → 織維産業と結びついたミシン工業の発展

※6 ミシン、農業用機械等の部品製造の活発化

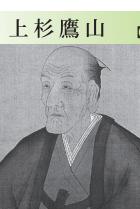
※7 企業誘致による半導体、電子部品、通信機器等工場の進出 → 地元企業との取引拡大(本県工業の中核を担う)

※8 金型、メッキ、切削、鋳造、鍛造、プレス等の基盤技術の集積(ミシン部品や誘致企業の下請工場が独自技術を活かして、機械工業の多様な分野に進出)



山形鎌物

## トピックス 山形の偉人



上杉鷹山

【うえすぎ・ようざん】

英主

質実剛健な施策により、貧弱した藩政を立て直した。とくに産業振興策では、養蚕業や米沢織を奨励し、現在の米沢の基礎を築きあげる。

いまも「おたまや」と呼ばれる土地の人々から崇められているのが、国指定史跡の「上杉家御廟所」である。名君として慕われた鷹山公もここに眠る。



藤沢周平

【ふじさわ・しゅうへい】

国民作家

1949年、山形師範学校を卒業後、旧湯田川中学校に赴任。結核のために鶴岡や東京で療養生活を送った後、食品業界新聞の記者として活動した。『暗殺の牛輪』で第63回直木賞受賞。平成元年、菊池寛賞受賞。平成7年には紫綬褒賞受賞。平成9年、山形県県民栄誉賞受賞。

1927年生まれ  
作家

我妻 栄

【わがつま・さかえ】

民法の神様

東京帝国大学法学部独科卒業後、同大学法学部長、名譽教授に就任する。戦後は日本学術会議の副会長、法務省特別顧問を務める。

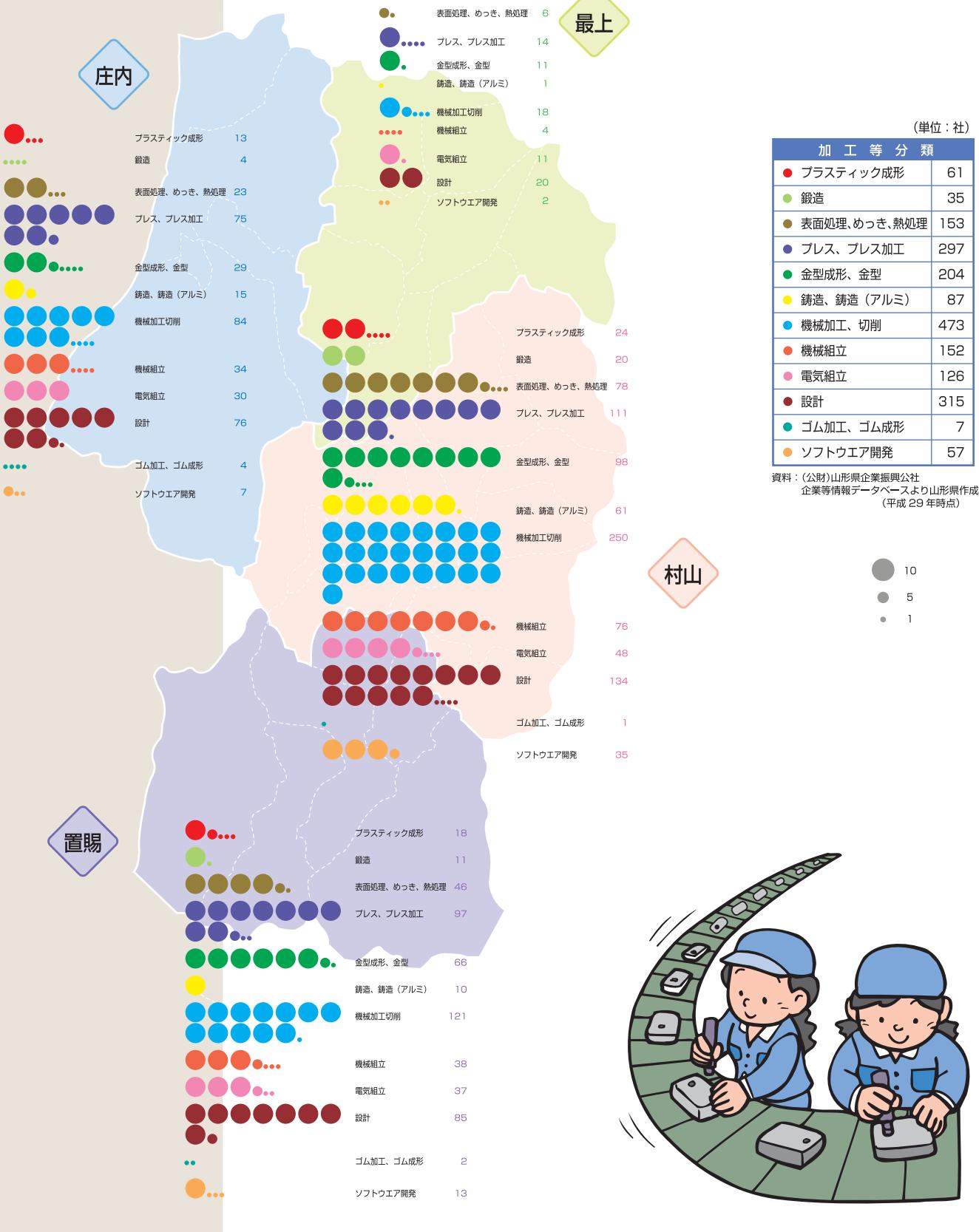
特に日本初の民法体系書『民法講義』は民法のバイブル的存在。『近代法における債権の優越的地位』等の著書がある。

1897年生まれ  
民法学者

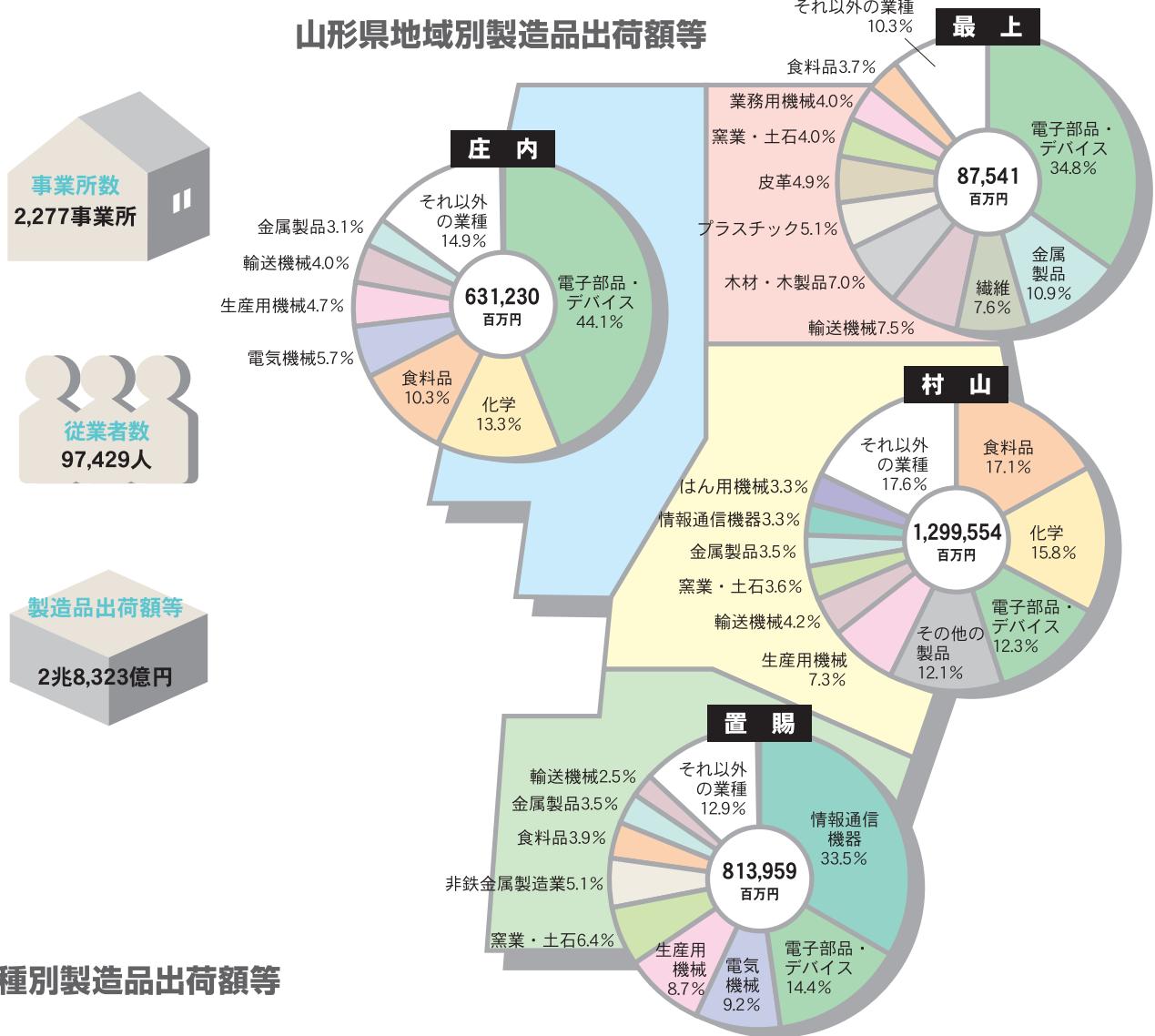
# 山形県の企業集積

歴史に裏打ちされた多様な技術が脈々と受け継がれている山形県。時代のニーズとともに進化することで、高品質・高精度で裾野の広い技術が集積する東日本有数のものづくり技術基盤を形成しています。

## 山形県の企業分布図



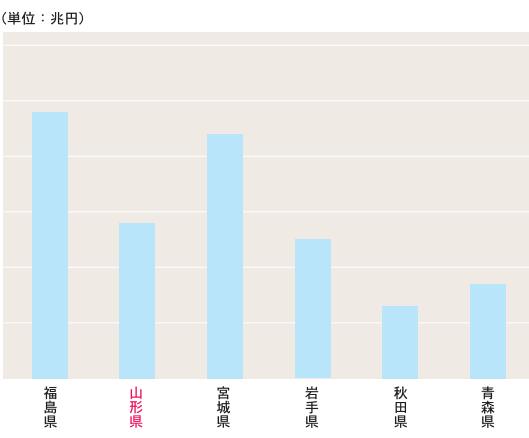
## 山形の工業データ



資料：経済センサス活動調査（令和3年：従業者4人以上事業所）

### トピックス

#### 東北6県の製造品出荷額等



資料：経済センサス活動調査（令和3年：従業者4人以上事業所）

# 山形の元気なものづくり企業

## キラリと光る山形の「技」

伝統を守りつつ新しいことへ挑戦する  
山形緞通 オリエンタルカーペット 株式会社



老舗じゅうたんブランド『山形緞通』が、ファッション・テキスタイルブランド『minä perhonen』と共に開発したじゅうたん。「happy ocean」色鉛筆で描かれた原画へ無造作に引かれた線、色のかすれを自然な形で表現するために、新しい技術的挑戦がいくつも盛り込まれています。

スカイツリーのエレベーターの滑車  
有限会社 渡辺鋳造所



950年の歴史を持つ山形鋳物。その伝統技術が進化し国内で稼働するエレベータの滑車を製造。世界一高い電波塔のエレベータの技術を支える滑車も提供。

海を渡ったけん玉  
有限会社 山形工房



海外でもスポーツとして広がるけん玉。競技用けん玉の生産量日本一として、職人手作りの一品を世界へ。

国連議場に並ぶ椅子

株式会社 朝日相扶製作所



ニューヨークの国連本部にある信託統治理事会の議場におかれた椅子を製作

米国元大統領夫人も着用した  
カーディガンの糸を生産  
佐藤織維 株式会社



米国オバマ元大統領の就任式でミシェル夫人が着用したニナリッヂのカーディガンが編まれた極細モヘア糸「FUUGA」など、世界に類を見ない独創的な糸や独特な世界観をもつニット製品を生産

ものづくりを支える工作機械を「蔵王から世界へ」

ミクロン精密 株式会社



丸い部品をより丸く加工する高能率研削盤と研削技術・技能を世界中に送り出しています。ナノレベルの『限りなき円(理想の真円)』を追求し、社会に価値を提供し続けます。

レコード針と言えば「ナガオカ」  
株式会社 ナガオカ



ダイヤモンドレコード針 世界トップシェアを誇るナガオカ 80周年記念カートリッジ『JT-80』がグッドデザイン賞を受賞 レコード針の加工技術を応用し、高硬度難削材の精密部品を製造し、社会に貢献しています。

マメに生きる  
株式会社 でん六



「まめはでん六」でお馴染み  
昭和31年発売以来愛され続けています

G7伊勢志摩サミットで提供  
有限会社 朝日町ワイン



G7伊勢志摩サミットにてマイスターセレクション  
パレルセレクションルージュ2013が提供

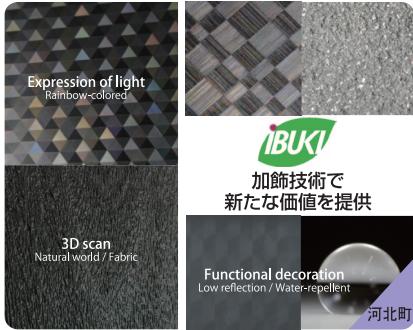
## ■日本のものづくりを支える山形の「技」

経済産業省・中小企業庁では、革新的な製品開発やサービスの創造等、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者を「はばたく中小企業・小規模事業者300社」として選定しています。山形県からは13年間で71社と東北トップクラスの選定数を誇り、県内企業の高度な“ものづくり技術”が認められています。

### お客様の「創りたい」をカタチにする

山形・東北・日本そして世界に向けて  
「アイディアの詰まったモノづくり」で勝負する

株式会社 IBUKI



これまで培った加飾技術を生かした金型から生まれる射出成形品で自動車の内外装部品や家電製品に、今まで見たことの無い驚きの表現を提供します。  
二次加工が不要になる事でSDGsやCO2削減などの環境負荷低減にも繋がります。  
【2018年選定企業】

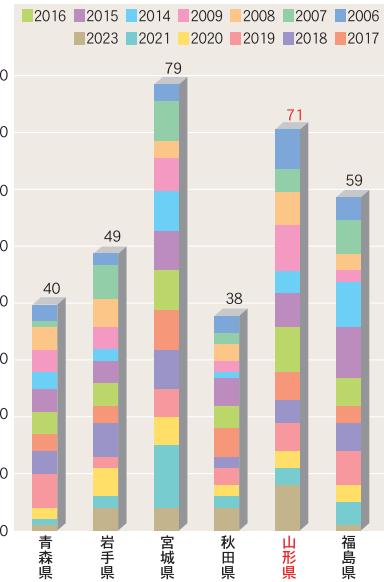
### 独自の成形合板技術による デザイン性の高い家具の製造を実現

株式会社 天童木工



軽く強い自由な形を実現する「成形合板」技術得意とする木製家具メーカー。トップクリエイターたちとの協働から生まれた多くの名作家具が国内外で高い評価を得ている。また、高級車の自動車内装部品も手掛ける。  
【2016年選定企業】

### 東北各県の選定状況（合計）



### ■2006~09 「元気なモノ作り企業300社」 2014~15 「がんばる中小企業等300社」 2016~23 「はばたく中小企業等300社」 選定企業

選定年度	企 業 名	市町村名
2006	ミクロン精密株式会社	山形市
	オリエンタルカーペット株式会社	山辺町
	ハイメカ株式会社	米沢市
	株式会社白田製作所	東根市
	ワテック株式会社	鶴岡市
	シンワ工業有限会社	新庄市
2007	株式会社鈴木製作所	山形市
	有限会社渡辺鋳造所	山形市
	株式会社高研	鶴岡市
	株式会社菊地保寿堂	山形市
2008	株式会社織元山口	米沢市
	株式会社アサヒ技研	朝日町
	佐藤織維株式会社	寒河江市
	後藤電子株式会社	寒河江市
	株式会社片桐製作所	上山市
2009	株式会社最上世紀	尾花沢市
	株式会社高橋型精	山形市
	株式会社ジエムシーヒルストン	最上町
	株式会社ウエノ	三川町
	斎藤マシン工業株式会社	天童市
	株式会社J K B	寒河江市
	伊藤電子工業株式会社	寒河江市
	株式会社シェルター	山形市
2014	株式会社アルファ・テクノツール	村山市
	有限会社タケダワイナリー	上山市
	米富織維株式会社	山辺町
	株式会社庄司製材所	真室川町
2015	株式会社産直あぐり	鶴岡市
	株式会社管製作所	天童市
	峯田電器株式会社	山辺町
	松岡株式会社	酒田市
	ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社	鶴岡市

選定年度	企 業 名	市町村名
2016	有限会社奥山メリヤス	寒河江市
	ジャスト株式会社	上山市
	スズキハイテック株式会社	山形市
	出羽桜酒造株式会社	天童市
	株式会社天童木工	天童市
	株式会社ニューテックシンセイ	米沢市
2017	株式会社マイスター	寒河江市
	株式会社ユーテック	酒田市
	株式会社朝日相扶製作所	朝日町
	株式会社森環境技術研究所	新庄市
2018	佐竹物産株式会社	山形市
	株式会社タマツ	鶴岡市
	黒川プレス工業株式会社	米沢市
	株式会社IBUKI	河北町
	株式会社ナカノアパレル	南陽市
2019	株式会社大商金山牧場	庄内町
	株式会社水戸部酒造	天童市
	株式会社丸十大屋	山形市
	進和ラベル印刷株式会社	上山市
2020	株式会社スガサワ	寒河江市
	ケイテック株式会社	酒田市
	株式会社山田鶴卵	米沢市
	合同会社とびしま	酒田市
	株式会社岡村工機	米沢市
2021	株式会社庄内クリエート工業	鶴岡市
	有限会社山形工房	長井市
	オプテックス工業株式会社	尾花沢市
	阿部産業株式会社	河北町
	株式会社東北ハム	鶴岡市
	三和油脂株式会社	天童市
	エルサンワイナリー松ヶ岡株式会社	鶴岡市
	株式会社山形メタル	新庄市
	株式会社メタルプロダクツ	真室川町
	有限会社玉谷製麺所	西川町
2023	株式会社山本製作所	天童市
	サンフウ精密株式会社	山形市

## 山形の強みを活かしたさらなる取組み

### ① 世界最先端の技術を核とした産業集積

#### バイオ技術を核としたクラスターの形成

##### 鶴岡サイエンスパーク

平成13年に鶴岡市に創設された慶應義塾大学先端生命科学研究所は、最先端のバイオテクノロジーを用いて、メタボロームなどの生物データを網羅的に解析し、コンピューターで分析する研究を進め「統合システムバイオロジー」で世界最先端の研究拠点となっています。

同研究所の研究成果を医療・健康、環境、農林水産物や食品などの分野に応用して、8社のバイオベンチャー企業が誕生するなど、バイオ関連企業や機関が集積しています。



#### 生命科学と情報科学を融合した「統合システムバイオロジー」で世界をリード

世界トップレベルの 生命科学研究	医療分野	環境分野	農業・食品分野	未来を担う 研究者の育成
メタボローム解析を始めとした基礎研究や応用研究の実施 	● 血液やだ液から病気を発見する技術の開発等 ● 大腸がん発症における代謝の仕組みを解明	● 人工構造タンパク質素材など石油に依存しない新素材開発等に貢献 ● 地球及び宇宙における生命の起源を探究	● メタボローム解析により地元農産物のおいしさを科学的に証明 ● 地元食品企業と連携した新商品開発	高校生研究助手等の、最先端技術を体験・学習するプログラムの実施 
ベンチャー企業の創出		地元企業の製品開発支援		様々な企業との共同研究
研究成果により、これまでに8社のバイオベンチャー企業が誕生		同研究所と地元企業の共同研究成果による、新たな商品やサービスの開発		同研究所はこれまで、シスマックス㈱、日本IBM㈱、キリンビール㈱、㈱デンソーソ、森下仁丹㈱等、50社以上との共同研究を実施
研究所発バイオベンチャー企業（8社）		【共同研究等のお問合せ先】 Tel : 0235-29-0800 E-mail : office@ttck.keio.ac.jp		

#### 研究所発バイオベンチャー企業（8社）

 ヒューマン ・メタボローム ・テクノロジーズ㈱	 スパイバー㈱	 ㈱サリバテック	 ㈱メタジェン	
 ㈱メトセラ	 ㈱モルキュア	 インセムズ テクノロジーズ㈱	 フェルメクテス㈱	人工構造タンパク素材の加工 (Spiber㈱)



#### 有機材料システムを核としたクラスターの形成

山形大学では、ワンストップでオープンイノベーションソリューションを提供する「オープンイノベーション推進本部」、技術移転や地域連携等を担う「研究・产学連携推進本部」の連携によって、地域産業への貢献に主眼を置いた産学連携を推進しています。

有機材料システムを中心とした事業分野の研究開発の推進により、山形発の革新的な技術が次々と生まれ出され、国内外をけん引する産業集積が形成されるよう取組みを進めています。



塗布型ハイブリア技術の開発



透明有機太陽電池で発電する窓



有機トランジスタ駆動のフレキシブル有機ELディスプレイ



有機エレクトロニクス  
イノベーションセンター(INOEL)  
(米沢市アルカディア)

## ② IoT関連製品評価、超精密加工技術、MEMS技術、食品開発支援

山形県工業技術センター内にIoTイノベーションセンターを設置し、IoT分野での成長が見込まれる電子部品・デバイス産業の支援を強化しました。また、発酵試作支援センターがオープンし、迅速な微生物の分析装置や実用規模の試作ラインを整備し、発酵食品や日本酒、ワインの新たな製品開発等を通して、山形県内産業の付加価値増大を図っています。

### <IoTイノベーションセンター>

#### 電波暗室（3m法）



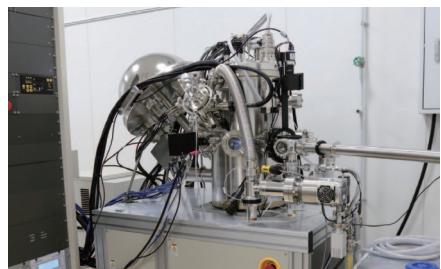
電子機器が電磁波による誤作動を起こしたり、他の製品に影響を与えないかを試験する

#### マイクロフォーカスX線CTシステム



製品を壊すことなくその内部を3次元で観察・検査する

#### X線光電子分光分析装置



半導体材料などのごく表面（数ナノメートル）に含まれる元素やその結合状態などを分析する

#### シールドルーム



電線から伝わる不要なノイズや、人や物からの静電気で誤作動しないかを試験する

#### 電子プローブマイクロアナライザー



主に金属部品の元素をごく狭い範囲で分析・観察する

#### 超高精度三次元測定機



金型や製品などの寸法や形状を1μmよりも高い精度で測定する

### <超精密加工技術>

#### 橿円振動切削



橿円振動切削装置（ダイヤモンド切削工具で鉄系材料に切削加工が可能）

#### <MEMS技術>

#### 反応性イオンエッティング



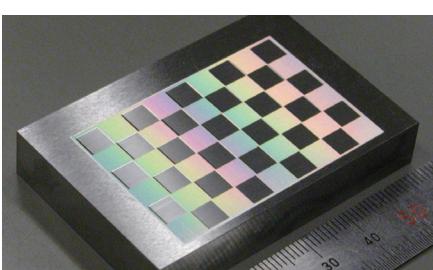
反応性イオンエッティング装置（シリコン、ガラス等の異方性ドライエッティングが可能）

### <発酵試作支援センター>

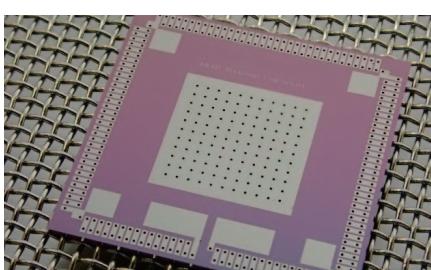
#### 微生物の分類同定分析、培養



微生物分類同定装置（微生物を迅速かつ簡便に同定することが可能）



ダイヤモンドコーティング工具による格子模様加工（材質：STAVAX 40×60mm, 硬度：54HRC）



パワーデバイスの過電流を検知するロゴスキーコイル型電流センサ（サイズ 10×10×0.3mm）



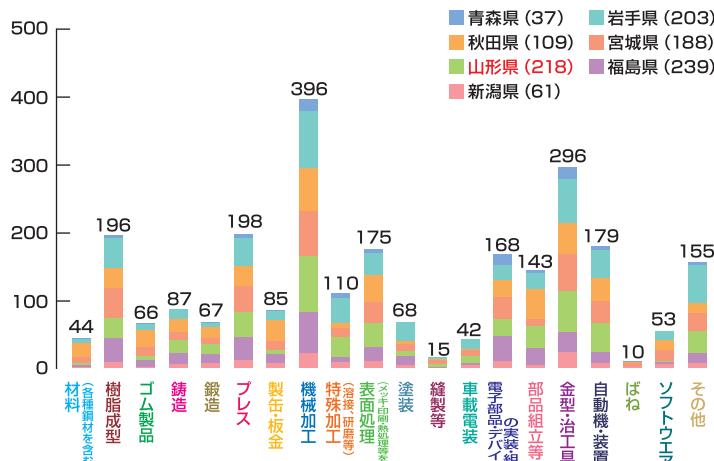
ファーメンター（微生物の大量培養や果実酢や乳酸菌飲料などの試作試験が可能）

### ③自動車関連産業の集積促進

山形県では、県内自動車関連企業等の交流と連携の場を創出し、自動車関連産業の振興と集積の促進を目的として、平成18年に「山形県自動車産業振興会議」を設立しました。会員をはじめ、部品メーカー等との情報交換を図るなど、様々な取組みをしています。東北6県・新潟県・北海道が合同で自動車関連技術展示商談会を開催するなど、広域的な連携も進めています。

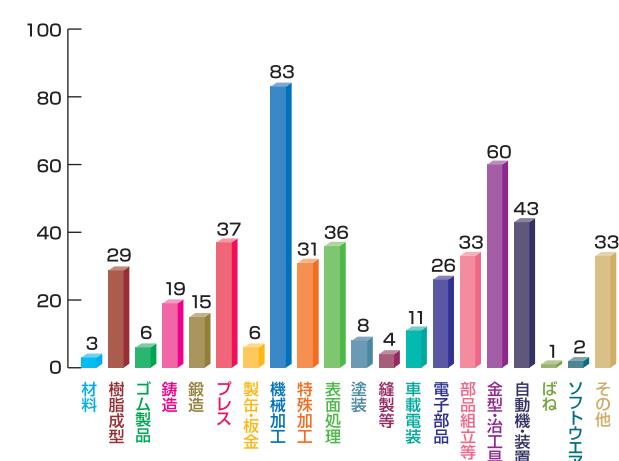
東北地域の企業が保有する技術分野の分布（単位：事業所）

東北地域（掲載事業所数：1,055）



※複数の保有技術をもつ事業所がある為、掲載全体事業所数と一致しません。

山形県（掲載事業所数：218）



資料：東北の自動車関連企業マップ(R3.3 第9版)

### 山形県で製造されている自動車部品の例

プラスチック外装品



カーナビ・ステレオ関連



防振ゴム関連



シャシー関連



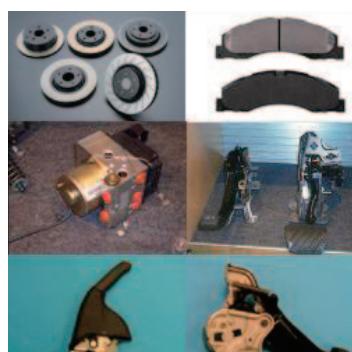
エアコン関連



クラッチ関連



ブレーキ関連



プラスチック内装品



エンジン部品



# “ものづくり”をサポートする機関

## 公益財団法人やまがた産業支援機構

企業の皆様を支援するため、以下のような様々な事業を行っています。

### 新たな価値の創出支援

イノベーションの創出、技術開発や事業化の取組みを多面的に支援します。

- 機械、化学、医療・福祉、バイオなど様々な分野を担当する産学官連携コーディネーターを配置し、大学や研究機関等の研究成果の波及を図るとともに、県内企業の技術開発や事業化を支援します。

[新価値創出支援部 プロジェクト推進グループ TEL:023-647-3163 FAX:023-647-3139]

- 企業におけるDXの実現に向けコーディネート活動を行うとともに、DX推進計画の策定等を支援します。

[新価値創出支援部 DX推進グループ TEL:023-647-3148 FAX:023-647-3139]

### 受発注取引の紹介・あっせん

商談会の実施など製造業の皆様の受発注活動・営業活動、資材・購買活動を支援します。

- 生産量の拡大に伴い、新たな協力工場を探したい
  - 当社にない技術や設備を持った協力工場を探したい
  - 社内で使用する設備等を製作する企業を探したい
  - 受注減に対応するため、新たな取引先を探したい
  - 新しい分野の受注にチャレンジしたい
- など、取引に関する相談に対応し、それに適した企業を紹介します。  
お気軽にご相談ください。

[経営支援部 取引支援グループ TEL:023-647-0662 FAX:023-647-0666]



### 人材の育成・確保

次代を担う高度技術者の育成、U・Iターンや専門知識を有する人材と県内企業とのマッチングを支援します。

#### ● 高度技術者の養成

次代を担う高度技術者の育成により県内企業の製造技術の高度化を支援します。

ものづくりに直結した高度なスキルの習得に加え、自律的なマインドの醸成や対人関係力・課題解決力の強化を通じて、変化の時代に即応した“自律型ものづくり人材”的育成に取り組んでいます。

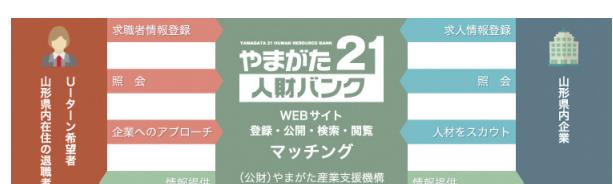
[人づくり支援部 研修実施グループ TEL:023-647-3154 FAX:023-647-3139]



#### ● やまがた21人財バンク

山形県にUターン・Iターンして転職・就職したい方や、山形県内在住の企業を退職された方と、山形県内の求人企業とのマッチングをやまがた暮らし・しごとサポートセンターと連携し支援します。ホームページに個人のプロフィールと企業の求人情報を登録し、出会いの場を提供します。

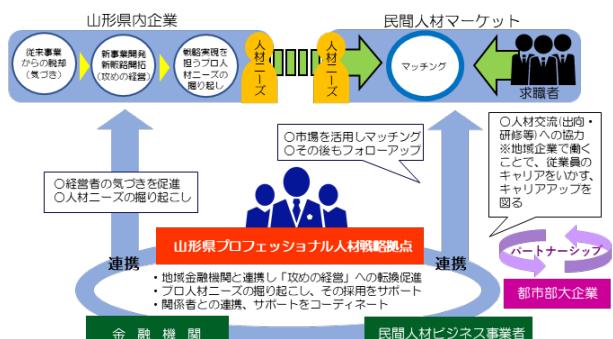
[人づくり支援部 やまがた21人財バンク TEL:023-647-3154  
FAX:023-647-3139]



#### ● 山形県プロフェッショナル人材戦略拠点

県内中堅・中小企業の経営側の立場に立ち、新たな取組みに積極的に挑む『攻めの経営』への意欲を喚起し、その実現に不可欠となるプロフェッショナル人材の活用を支援します。

[山形県プロフェッショナル人材戦略拠点 TEL:023-647-0665  
FAX:023-647-3139]



公益財団法人やまがた産業支援機構

本部【経営支援部、創業支援部】

〒990-8580 山形市城南町1-1-1 霞城セントラル13階

支部【新価値創出支援部、人づくり支援部（やまがた21人財バンク、山形県プロフェッショナル人材戦略拠点）】

〒990-2473 山形市松栄2-2-1 山形県高度技術研究開発センター内

## 山形県工業技術センター

本所（山形市）、置賜試験場（米沢市）、庄内試験場（三川町）の3公所で連携をとりながら、様々な要望にお応えしています。



### ●連携支援

センター内の技術分野の連携・複合化により付加価値増大を目指した支援を行います。また、産業支援機関・大学等外部機関との連携により企業の課題にスピーディーに対応します。

### ●研究開発

センターでは独自に、また他の機関と連携しながら、県内産業基盤の強化を目指した戦略的なプロジェクト研究および地域に根ざした研究開発に取り組んでいます。また、「共同研究」、「受託研究」を実施しています。

### ●技術者養成

企業の皆様の技術課題の解決を支援するため、マンツーマンによるO R T研修を実施しています。また、より高度な専門知識の修得を目的とする製造業技術者研修を実施しています。

### ●技術相談・情報提供

新製品開発、不良原因究明、製造技術の改良、技術情報の収集、皆様から寄せられる様々な課題について解決のお手伝いをいたします。相談にかかる費用は無料です。生産現場に出向いての相談対応も実施しています。また、研究・成果発表会や研究報告、ホームページなどを通してセンターの成果をタイムリーに公開・お知らせしています。

### ●受託試験・設備使用

センター職員が、工業材料や製品の試験、分析、測定を行い、必要に応じて成績書を発行します。また、センターや試験場の設備、装置の一部をご利用いただけます。



山形県工業技術センター（本所）  
〒990-2473 山形市松栄2-2-1 TEL：023-644-3222 FAX：023-644-3228  
E-mail : info@yrit.jp HP : <https://yrit.jp>

## やまがた暮らし・しごとサポートセンター

やまがた暮らし・しごとサポートセンターは、山形県内の企業と、山形県内に職を求める人とを結ぶ場です。

県外への進学者・就職者や自分のキャリアを山形で活かしたい方からの就職相談だけでなく、新たに人材を求める県内企業のみなさまの求人相談にも、専門のスタッフが対応します。



### ～実施している支援内容～

#### ①U Iターン就職希望者からの相談対応

- センター窓口での相談対応、電話・メールでの相談への対応
- 山形県内の企業情報や求人情報等の提供、説明
- キャリアカウンセラーによるカウンセリング（自己分析・自己理解等）など

#### ②山形県内企業の求人に対する支援・対応

- 山形県内企業への無料職業紹介（求人票に基づく就職あっせん、紹介状の発行等）
- 山形県内企業への訪問、求人に関する情報収集
- 山形県内企業からの求人に関する相談への対応 など

#### ③就職ガイダンス等での相談対応・情報発信

- 「やまがた合同企業説明会」（東京会場）など、山形県や山形労働局等が主催する就職ガイダンスでの相談対応
- その他U Iターン関連のイベント情報の発信 など

## やまがた暮らし・しごとサポートセンター

住所：〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階ふるさと回帰支援センター内

開設時間：火～日曜 10:00～18:00（月曜・祝日・盆・年末年始休み）

相談方法：対面（来館）、電話、メール、オンライン

※相談員が不在となる場合もありますので、ご来館の場合はご予約ください

URL : <https://www.pref.yamagata.jp/110009/sangyo/rodo/koyotaisaku/uiturn/u-turn-center.html>

### 就職相談窓口

TEL 03-6810-2666・03-5212-8996 FAX 03-6269-9534

E-mail [yu-turn@pref.yamagata.jp](mailto:yu-turn@pref.yamagata.jp)

◆電話、メール、オンライン相談は月曜日も受け付けています

### 移住相談窓口

TEL 03-6269-9533 FAX 03-6269-9534

E-mail [iyu-support@yamagata-iyu.jp](mailto:iyu-support@yamagata-iyu.jp)

## 山形県産業創造支援センター

「山形県産業創造支援センター」は、県内産業に資する情報化・デザイン開発並びに時代に即したビジネスでの新規創業を支援することにより、本県産業の発展に寄与することを目的として設置された施設です。

自然豊かな環境で、新規創業や研究開発を促進するためのレンタルオフィスと、セミナーや会議などに利用できる貸しホール・貸会議室を備え、「安心」「安全」「快適」なビジネス環境を提供しています。

### 施設の特徴

1. 24時間セキュリティシステム完備
2. 敷金・礼金不要、共益費・管理費の負担なし
3. センター敷地内の除雪完備
4. 来客用駐車場完備（無料）
5. 貸会議室、大判プリンタ等が低料金で利用可能
6. 経営支援アドバイザーやインキュベーションマネージャーが常駐
7. 市内主要バイパスからのアクセス良好



### 貸会議室等

- 多目的ホール（定員54名）1時間2,200円～
- マルチメディアホール（定員42名）  
1時間1,800円～
- 第1会議室A・B（各定員16名）  
1時間900円～
- 第2会議室（定員20名）1時間900円～
- 大判インクジェットプリンター  
1,800円 / 1枚 (A0)等



### 実施事業

#### ①創業・経営相談

入居企業を支援するため、中小企業の経営計画策定や補助金申請など各種支援施策に精通した経営支援アドバイザー、インキュベーション・マネージャーなどを配置しています。経営上の悩みに親身に耳を傾け、本質的な課題を明確化するとともに、適切な解決策を提案します。

#### ②創業塾

創業に必要な考え方や経営の基礎知識を初步から体系的に学べる「山形元気づくり創業塾」、「起業家セミナー」等を開催しています。（10月～12月開催、計6回、受講料負担あり）

## トピックス

### スタートアップステーション・ジョージ山形

「スタートアップステーション・ジョージ山形」は、山形駅西口に隣接する霞城セントラル2階に設置された、ビジネスパーソンや学生などに利用いただけるコワーキングスペースです。1日500円という低料金でご利用頂けるほか、訪れる方同士の交流、また起業・創業のためのマインドサポートをはじめ、ビジネスアイディアの具現化を進める無料の相談窓口を常設しています。

#### 施設の特徴

- ドロップイン500円/1日という低料金でご利用可能
- 高速無線LAN環境整備（最速1Gbps ベストエフォート）
- 完全防音の個室あり（定員2～4名、別途料金がかかります）
- 20名程度の小規模イベント開催可能（別途料金がかかります）
- バーチャルオフィス：当施設を所在地とした商業登記が可能（15,000円/月）

#### 創業支援機能

- 創業相談：創業に関心がある方・創業を考えている方の総合窓口として、創業支援コーディネーターが、ビジネスの構想段階から相談に応じます。（相談無料・要予約）
- イベント開催：創業希望者を対象としたイベントを隨時開催

**(お問い合わせ先)** スタートアップステーション・ジョージ山形  
〒990-8580 山形県山形市城南町1-1-1 霞城セントラル2階 TEL 023-666-6100  
Email : george@ynet.or.jp HP : <https://www.george-yamagata.jp/>  
(運営)公益財団法人やまがた産業支援機構

### レンタルオフィス・貸ブース

#### ●利用の対象となる方

- ・新規創業型：創業5年以内の方、新規創業予定の方
- ・新事業開発型：デザイン・情報関連事業を行う方

#### ●使用許可期間：原則3年以内。

- 部屋数：貸しブース（8m<sup>2</sup>）が6室、Sサイズ（40m<sup>2</sup>）～Lサイズ（135m<sup>2</sup>）まで23室

- 利用料金：新規創業型6,600円/月（貸しブース）、33,000円/月（S室）～  
新事業開発型19,800円/月（貸しブース）、99,000円/月（S室）～



### 施設の利用方法

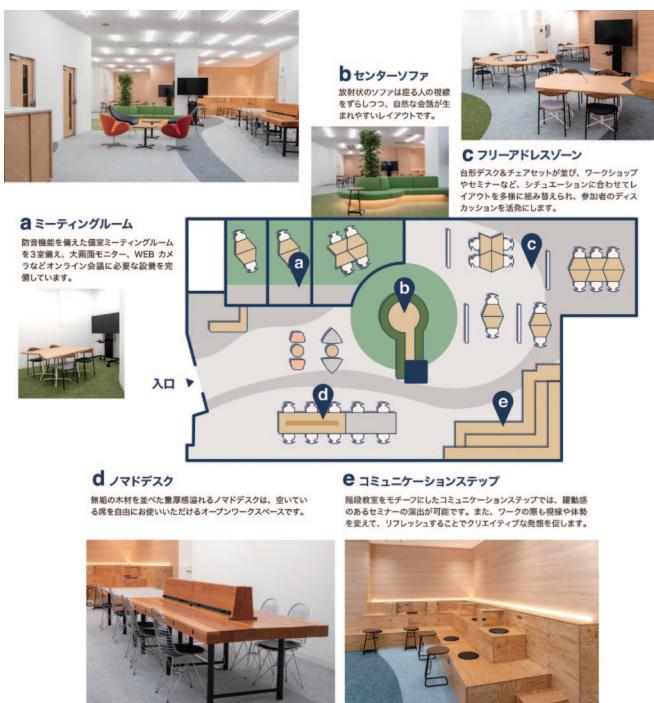
#### ●レンタルオフィス

基本的に偶数月に公募を実施していますが、空き室状況によっては公募を実施しないことがあります。入居に関するご相談は随時お受けしています。

#### ●貸会議室等

お申込みは随時受付しています。空き状況などHPに掲載しているほかお気軽にお問い合わせください。

**(お問い合わせ先)** 山形県産業創造支援センター  
〒990-2473 山形県山形市松栄1-3-8 TEL. 023-647-8111  
Email : info@cc-yamagata.jp HP : <http://www.cc-yamagata.jp>  
(指定管理者) 公益財団法人やまがた産業支援機構



# 企業を支える優れた人材

有機エレクトロニクスの世界的な研究拠点を擁する山形大学や、全国初の「公益学」を専門とする東北公益文科大学、東北芸術工科大学、県立保健医療大学などの4年制大学をはじめ、県立産業技術短期大学校など、多様な教育機関がものづくり企業を支える優れた人材を輩出しています。

令和7年4月には、山形大学に課題解決型実践人材を育成する教育組織「社会共創デジタル学環」が設置されます。

## ■大学・短大・高専等（大学院を含む）

学校名（所在地）	学部・学科名	最終学年	大学院	(人) 学生総数*
山形大学（山形市）	人文学部・人文社会科学部	384	53	1,291
	地域教育文化学部	190	42	726
	理学部	258	157	887
	医学部	142	177	945
東北芸術工科大学（山形市）	芸術学部	268	39	2,401
	デザイン工学部	322		
県立保健医療大学（山形市）	保健医療学部	100	33	420
県立産業技術短期大学校（山形市）	デジタルエンジニアリング・メカトロニクス・知能電子システム・情報システム・建築環境システム・土木エンジニアリング・産業技術専攻	106		229
東北文教大学（山形市）	人間科学部	108		448
東北文教大学短期大学部（山形市）	子ども学科・現代福祉学科	110		218
羽陽学園短期大学（天童市）	幼児教育科	82		168
山形大学（米沢市）	工学部（高分子・有機材料工学、化学・バイオ工学、情報・エレクトロニクス、機械システム工学、建築・デザイン、システム創成工学）	754	766	2,748
県立米沢女子短期大学（米沢市）	国語国文学科・英語英文学科・日本史学科・社会情報学科	264		518
県立米沢栄養大学（米沢市）	健康栄養学部	41	5	174
山形大学（鶴岡市）	農学部	181	101	687
東北公益文科大学（酒田市・鶴岡市）	公益学部	249	12	912
県立産業技術短期大学校庄内校（酒田市）	生産エンジニアリング・情報通信システム・IT会計ビジネス	35		69
鶴岡工業高等専門学校（鶴岡市）	創造工学科	本 158		824
	生産システム工学専攻	専 36		
電動モビリティシステム専門職大学	電気自動車システム工学科			5
合 計		3,788	1,385	13,670

\*学生総数には大学院生を含まない

## ■高等学校（工業・情報系）

学校名（所在地）	学科名	最終学年
県立山形工業（山形市）	機械、電子機械、電気電子、情報技術、建築、土木・化学	222
私立山形学院（山形市）	情報	25
私立山形明正（山形市）	自動車工学、情報機械、自動車工学専攻科	92
県立上山明新館（上山市）	情報経営	31
私立創学館（天童市）	やまと創造工学	192
県立寒河江工業（寒河江市）	機械、電子機械、情報技術	77
県立村山産業（村山市）	機械、電子情報	37
県立新庄神室産業（新庄市）	機械電気、環境デザイン	40
県立米沢工業（米沢市）	機械、生産デザイン、電気情報、環境工学、建築	165
県立米沢商業（米沢市）	情報ビジネス	27
県立長井工業（長井市）	機械システム、電子システム、福祉生産システム	63
県立鶴岡工業（鶴岡市）	機械、電気電子、情報通信、建築、環境化学	165
私立羽黒（鶴岡市）	機械システム、総合情報、自動車システム	60
県立酒田光陵（酒田市）	機械制御、電気電子、環境技術、情報	114
合 計		1,310

## ■職業能力開発校

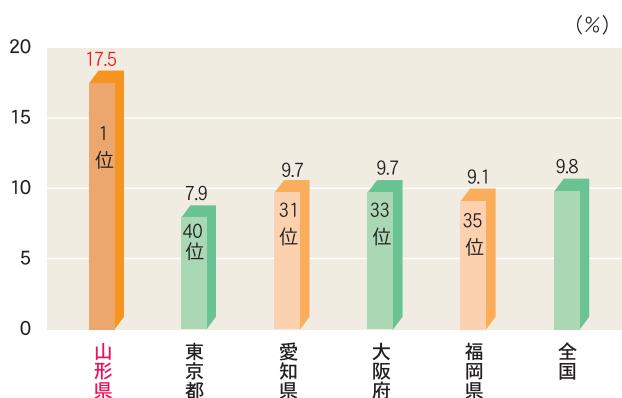
学校名（所在地）	学科名	最終学年
山形職業能力開発専門校（山形市）	自動車・建設技術	46
庄内職業能力開発センター（酒田市）	金属技術	7
合 計		53

\*令和5年度「山形県学校名鑑」等、県雇用・産業人材育成課、山形大学

## ■厚みのある人材育成

公立高校全日制募集定員に対する工業科構成比

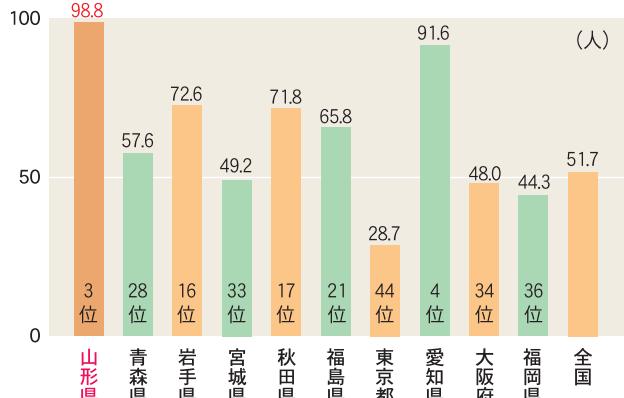
**全国第1位 17.5%**



資料：他県調べ（平成23年度）

人口10万人当たりの技能検定合格者数

**全国第3位・東北第1位 98.8人**

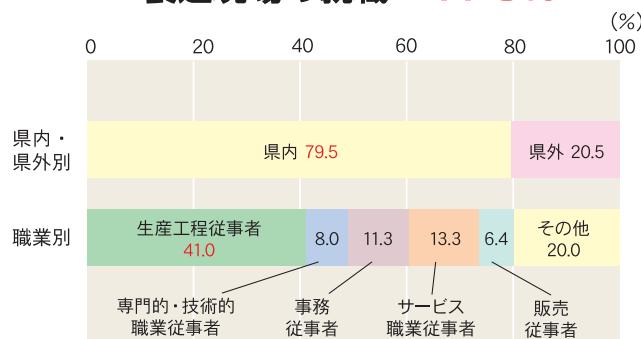


資料：厚生労働省「技能検定実施状況（令和4年度）」より山形県作成

## 雇用環境データ

高校卒業者の就職状況（令和5年3月）

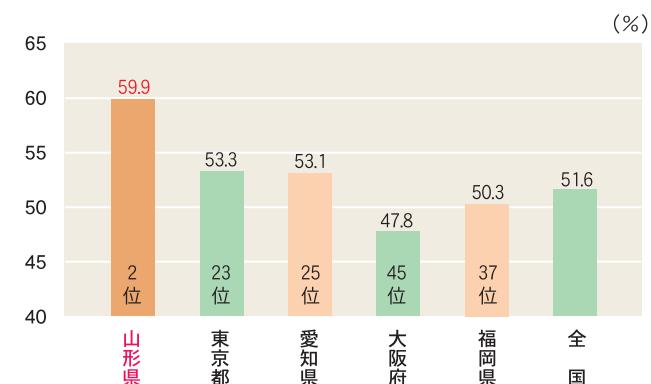
**県内就職 79.5%**  
**製造現場の就職 41.0%**



資料：「学校基本調査」

共働き世帯率（令和2年）

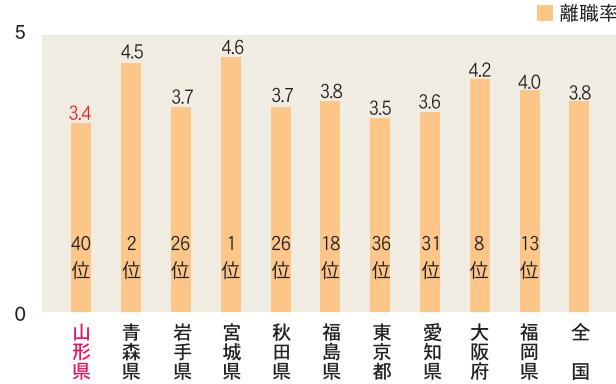
**全国第2位 59.9%**



資料：総務省統計局「国勢調査」

離職率（令和4年）

**全国第7位・東北第1位の低さ 3.4%**



資料：総務省統計局「社会生活統計指標」

**トピックス** **やまがたスマイル認定企業制度**



「ワーク・ライフ・バランス」「女性活躍」の推進などに積極的に取り組んでいる企業等を“やまがたスマイル企業”として県が認定する制度です。認定により、企業イメージの向上や人材の獲得・定着が期待されます。

# 産業人材の育成・確保

## ① ものづくりの次世代を担う人材育成

山形県では、地域の高校と産業界、関係行政機関が連携し、ものづくり産業の次世代を担う実践的な技術・技能を備えた人材の育成に取り組んでいます。

### やまがたAI部

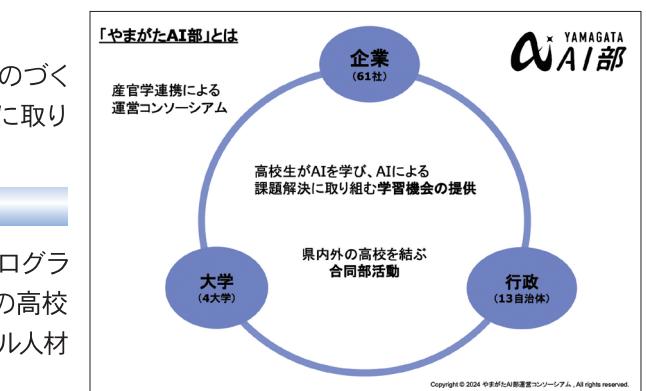
山形県内の企業・教育機関・自治体が連携して取り組む、AIプログラミング教育を通じた『デジタル人材育成プロジェクト』です。県内の高校生を対象に「部活動」という形式で取り組みをスタートし、デジタル人材の育成を通じて山形県の一人当たりのGDPの向上を目指します。

令和2年に県内11校から始まり、令和6年度は県内34校+県外の高校生に、AIに関する先進技術やデータサイエンス等、質の高い学びを提供しています。さらに、令和5年度オープンした「やまがたAI部公式LINE」を活用し、OB・OG等の参画活動支援においても多様な形で盛り上げていけるよう取り組んでいます。

### 取り組み① 県内ものづくり企業の視察・実習

やまがたAI部の高校生が県内ものづくり企業の視察を通して、企業における具体的なAI活用方法を高校生が考える機会を設けています。県内4地域の企業に受け入れを依頼し、高校生と各企業の社員とで構成されるグループでワークショップを行います。令和5年度参加した高校生からは「色んなことにAIは挑戦できるとわかり、さらに学びたいと思った」「改めてこういう仕事に就きたいと思った」「企業におけるAIの活用法を間近で見ることができ、とても貴重な体験だった」などの感想が寄せられました。

高校生が県内ものづくり企業の魅力を知るきっかけにもなり、県内就職・定着の足がかりとしての役割も担っています。



### 取り組み② AI甲子園の開催

やまがたAI部における1年間のカリキュラムで学び得た知識・スキルを活用し、全2種目の競技において各校で競い合います。「第4回やまがたAI甲子園」では、画像認識AIと探究テーマAIの2つの競技で熱戦を繰り広げました。

令和5年度は、参加校増加に伴い本選同様のテーマで予選会を開催。予選を通過した上位16校が本選出場権を獲得し、全2種目の総合点が最も高い高校に最優秀賞が贈られました。多角的視点から採点を行うため、AI・情報教育等に精通した様々な業種の方々が審査を行っています。

最優秀賞には愛知県立東海樟風高等学校が選ばれ、トロフィーと賞状が贈られました。



## ② 企業ニーズに対応したさらなるスキルアップ

山形県では、優れた人材を豊富に育成しているのに加え、企業在職技術者等を対象とした様々な人材育成事業を実施することにより、技術力の更なるスキルアップに努めています。

### 高度なものづくり人材の育成

成長分野参入促進	電子情報	設計技術	基盤技術
<p>成長分野参入人材育成研修</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①在庫管理</li><li>②生産改善</li><li>③生産管理</li><li>④TWI</li><li>⑤現場リーダースキルアップ (一般対象・女性対象)</li><li>⑥ものづくり人材(初級)</li><li>⑦発想力・思考力強化</li><li>⑧中堅社員</li></ul>	<p>公開講座</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①IoTセミナー</li><li>②情報通信技術セミナー</li></ul>	<p>公開講座</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①シーケンス制御入門</li><li>②3次元CAD入門</li></ul>	<p>製造業技術者研修</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①食品の安全管理技術</li><li>②切削加工・研削加工技術</li><li>③金属材料学</li><li>④ノイズ対策の基礎・技術</li><li>⑤プラスチック射出成形技術</li><li>⑥異物解析技術入門</li><li>⑦品質管理 等</li></ul> <p>公開講座・向上訓練 全72コース 定員合計980名以上</p> <p>共同研究支援研修</p>

### ③ やまがた就職促進奨学金返還支援事業

山形県では、将来の担い手となる若者の回帰・定着を目的に、市町村や企業等と連携※した奨学金返還支援事業を行っています。山形県内で居住・就業してから3年経過後に支援を受けることができ、令和5年度までに累計1,958名の方が助成候補者として認定されています。

※県と市町村又は企業等が1/2ずつ出資して支援を行います。



#### 募集枠について

**学生の方** 支援金額：2万6千円×対象月数（4年制大学の場合最大124万8千円）

**【やまがた若者定着枠】** 支援条件：申請した市町村に居住して山形県内で就業すること

**【産業人材確保枠】** 支援条件：登録企業76社（令和6年8月1日現在）で就職すること

**社会人の方** 支援金額：県内居住・就業から3年間で返済した奨学金の額（最大60万円まで）

**【Uターン促進枠】** 支援条件：申請した市町村に居住して山形県内で就業すること

### ④ 山形県と大学等とのUターン就職促進に関する協定

山形県では、山形県内の企業情報等の提供や大学内での就職ガイダンスの開催等について、大学等と連携して取り組むことにより、Uターン就職の一層の促進をはかり、県内企業の人材を確保することを目的として、大学等とUターン就職促進に関する協定の締結を行っています。

令和6年5月22日現在、30大学等と協定を締結しています。

#### 協定締結している学校・締結年月日

●東海大学	H27.8.6	●立教大学	H30.1.24	●関東学院大学	R3.2.17
●神奈川大学	H28.5.30	●帝京大学	H30.2.26	●東京工科大学	R3.3.24
●専修大学	H28.5.30	●帝京大学短期大学	H30.2.26	●日本工学院専門学校	R3.3.24
●大東文化大学	H28.9.28	●明治学院大学	H30.3.8	●日本工学院八王子専門学校	R3.3.24
●日本大学	H28.9.30	●立正大学	H30.8.7	●日本工学院北海道専門学校	R3.3.24
●明治大学	H29.3.2	●拓殖大学	H30.9.18	●東北学院大学	R4.3.7
●国士館大学	H29.8.25	●立命館大学	H31.3.12	●東北工業大学	R4.4.1
●駒澤大学	H29.11.20	●法政大学	R2.1.21	●東北福祉大学	R4.11.30
●東洋大学	H29.12.19	●千葉商科大学	R2.2.18	●東京農業大学	R5.11.9
●文教大学	H30.1.15	●神奈川工科大学	R2.3.3	●関西大学	R6.5.22

### トピックス XR (クロスリアリティ) ってなんだ?

XR (クロスリアリティ) とは、現実の世界とコンピューターで作られた仮想の世界を組み合わせる技術の総称です。例えば、現実の景色や物体にデジタルで作った視覚情報を追加したり、特殊なゴーグルを装着することで完全に仮想の世界に入り込んだり、現実のテーブルの上に仮想のキャラクターが現れて一緒にゲームをしたりといったことが可能となります。

この技術は教育、医療、製造業、不動産などの分野での活用が期待され、生活や仕事を大きく変える可能性を秘めております。トレーニングシミュレーションや仮想教室といった訓練・教育プログラムの提供、遠隔地からの作業手順やトラブルシューティングの指示といった遠隔作業支援システムの導入等への活用が想定されております。

今後山形県では、この技術を活用して産業振興を図るため、人材育成のための高校生・大学生が基礎的なスキルを学ぶセミナーや、大学生・社会人が専門スキルを習得し、これを実際のビジネスへ活用を実践する講習会の開催、製造業やサービス業におけるXR技術の実証事業を行う予定です。



## 立地企業の声

### 「山形の優秀な人材により新しい製品が続々と誕生」

シャチハタエンジニアリング株式会社（山形市）



代表取締役社長  
佐藤 旭

当社は、シャチハタの研究および生産拠点の1つとして2016年に設立されました。2017年には山形市の山形中央インター産業団地に拠点を構え、ICT、ロボティックス、IoTなどDX化の拠点、海外拠点のサプライチェーンの見直しなどグループの重要な拠点として位置付け活動を開始しました。シャチハタの本社がある名古屋市から飛行機で1時間、空港から30分という東北地方にあるとは思えない交通のアクセスの良さも大変気に入っています。また、地元山形を中心に真面目に実直に取り組む優秀な人材に恵まれ、高度な技術で質の高い製品を次々に生み出し、お客様の信頼を確固たるものにしています。

山形事業所の成功は、山形県をはじめ多くの行政機関からの多大なるご支援とご指導の賜物と深く感謝しております。

シャチハタは2025年に創業100周年を迎えますが、山形で生まれた技術により、これからもお客様の役に立つモノづくりに寄与して参りたいと考えております。

### 「仕事に真摯に取り組む地元山形の優秀な人材」

大阪有機化学工業株式会社 酒田工場（遊佐町）



代表取締役社長  
安藤 昌幸

当社は主力製品であるアクリル酸エステルを、化成品・電子材料・機能化学品として幅広い産業のニッチな分野に提供しています。アクリル酸エステルは、様々な樹脂の原料となるもので、塗料・粘着剤・インキから液晶ディスプレイ・半導体を中心とする電子材料、頭髪用化粧品まで、私たちの生活の身の回りに欠かせないものとして存在しています。

酒田工場は、液晶用電子材料・化粧品向け製品の生産拠点として、豊かな自然に恵まれた山形県飽海郡遊佐町で2000年に操業を開始しました。近年の中国をはじめとする海外市場の拡大に対応するため、自動車塗料向け製品の生産プラントを建設し、自動車需要の増加を見据えた生産体制を整えています。

地元山形から仕事に真摯に取り組む優秀な人材を確保することが、当社業績へ大きく貢献しています。これからも山形でグローバルな製品を生産して参りたいと考えております。

### 「豊かな自然、利便性の高い交通網、秀逸な人財の宝庫、山形」

住理工山形株式会社（米沢市）



代表取締役社長  
野口 哲史

当社は、住友理工グループの東北初の生産拠点として、山形県米沢市に2015年に設立、16年に稼働したモノづくりの会社です。生産品目は、自動車を安全・快適に走らせるために不可欠な自動車用防振ゴムで、主に北関東から東北エリアのお客様に、迅速かつ効率的に高品質な製品を供給しております。

当社は、人手で作業する汎用設備による生産拠点としてのマザーワーク場と位置付けられ、知恵と工夫のカイゼン事例をグローバルに展開し、グループ全体の生産性向上に寄与する役目も担っております。

勤勉で実直、ひたむきに仕事に取り組む山形県内出身の優秀な従業員の活躍により、ここ山形で培った技術をもとに、さらに高水準な品質・性能の製品を提供して参ります。

## 「地元出身の従業員一丸となり、地域の発展に努力」

山形東亜DKK株式会社（新庄市）



代表取締役社長  
佐々木 彰

21世紀を迎えるテクノロジーとエコロジーの共栄は、産業界のメインテーマとすべき、大きな課題です。私たち、山形東亜DKK㈱は「地球に優しいテクノロジー」を掲げ、水質や大気、排ガスなどの測定用分析計の生産を通して、地球環境保全の一翼を担いたいと考えています。

まだ奥の深い分析計の分野をさらに開拓して行きます。きれいな水と澄んだ空気、そして緑の大地を次の世代へ伝えるために、より優れた、そしてこれまでになかった分析計の提供を目指します。

従業員は121名、地元出身者を中心に広く人員を募り、地域の発展に向け全社一丸となり、更なる飛躍を誓っております。

なお、当社独自の開発製品をインターネットで販売しております。好評を得ております。

## 「山形の優秀な人材で山形のものづくりを世界に発信」

山形カシオ株式会社（東根市）



代表取締役社長  
木村 真一

山形カシオはカシオ計算機の生産拠点として1979年に設立されました。これまで多くのカシオ商品の生産に携わり、カシオグループの国内唯一の生産拠点としてカシオブランドの生産を一貫して行う能力を有すると共に海外生産拠点を技術と人材で支えるマザーワーク場の役割を担っております。

当社はオシアナス、MR-Gに代表されるカシオの高級アナログ時計のほか、スマートスタイルプロジェクター、デジタルカメラ技術を活かした医療用カメラ等のカシオ商品に加え、オリジナル事業として精密金型とプラスチック成形品の生産から相手先ブランドによるEMS事業も行っております。

カシオ商品全品目のマザーワーク場を担うべく、生産ラインの自動化や制御を行うロボット、IoT化を導入しDX

化によるグローバルな生産体制の中核をなすスマート工場に進化を続けております。

今後もデジタルエンジニアリングとクラフトマンシップの融合によるメイドインジャパンの高品質生産と知覚品質の創造による新たな価値を提供し、信頼されるものづくりで多くのお客様にファンになって頂ける会社を目指します。

当社のこの様な発展は地元山形大学の70名を超える卒業生をはじめ、山形県内出身の優秀な従業員の国内外に渡るグローバルな活躍により支えられております。これからも地元の優秀な人材と培った技術で「高度なものづくり」を実現し世界に発信して参ります。

## 「山形の地域に宿るエネルギーを活力に県下、東北、北関東地区の自治体課題に向けた仕組みを発信し続けます。」

シフトプラス株式会社（河北町）



代表取締役  
中尾 裕也

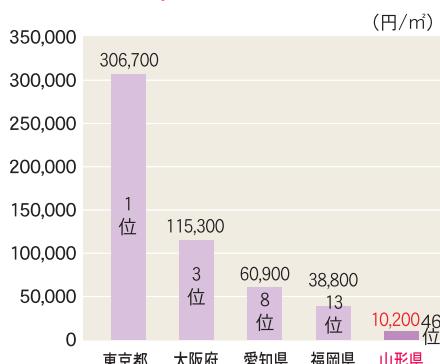
当社は2006年に大阪を本社とし設立しました。主に自治体向けに、ふるさと納税委託業務（データ登録、商品画像作成、ポータルサイト運営、商品・広告提案）やその管理システムLedgHomeの開発・提供、自治体向け総合行政プラットフォームLGSTAの開発を行なうなど、業務効率化システムと運用サポートを中心に自治体の多様化する課題解決のご提案を日々行っております。

山形県内へ進出したばかりではありますが、県内には優秀な人材も多く、これから更にソフトウェアやデザイン関連の事業拡大に向けて積極的に取り組み地域雇用創出に貢献してまいりたいと考えております。

## 低廉な地価

工業地の地価水準

**全国第2位の安価な地価水準  
10,200円／m<sup>2</sup>**

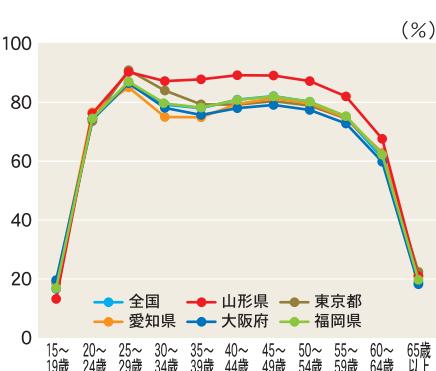


資料：国土交通省「令和5年都道府県地価調査」

## 女性が活躍できる環境

生産年齢の女性の労働力率

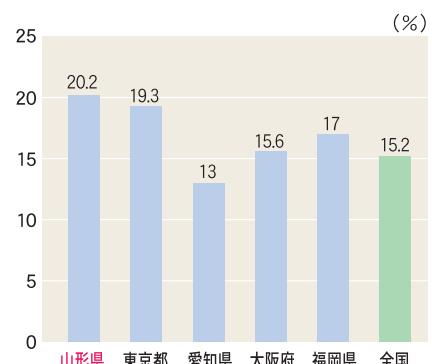
**すべての年齢層で女性が活躍**



資料：令和2年国勢調査

大学の工学系学部への進学者に占める女性の比率

**全国第1位の高さ  
20.2%**



資料：令和3年度内閣府委託による三菱UFJリサーチ&コンサルティング調査

## ゆとりある生活環境

着工新設持ち家1住宅あたりの床面積（令和4年）

**全国第4位の広さ**

**120.6m<sup>2</sup>**

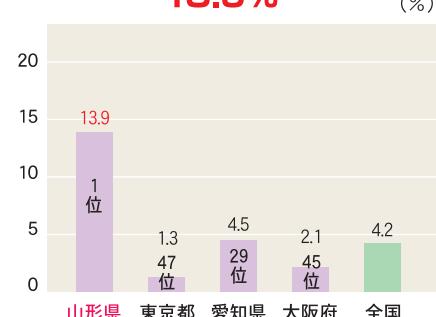


資料：総務省統計局「社会生活統計指標」

三世代同居率（令和2年）

**全国第1位の高さ**

**13.9%**



資料：国勢調査（対一般世帯数）

平均通勤時間

（家計をおもに支える者の通勤時間）

**短い通勤時間 19.2分**

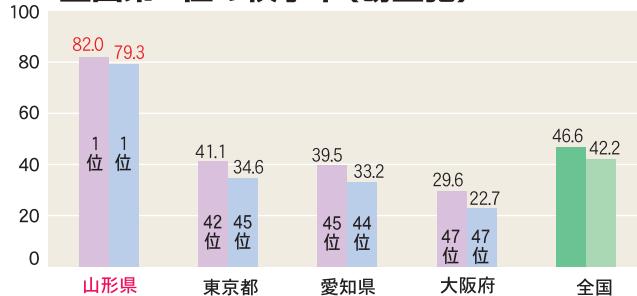


資料：総務省「平成30年住宅・土地統計調査」

刑法犯・窃盗犯検挙率（令和3年）

**全国第1位の検挙率(刑法犯) 82.0%**

**全国第1位の検挙率(窃盗犯) 79.3% (%)**



■ 刑法犯検挙率 ■ 窃盗犯検挙率  
資料：総務省統計局「社会生活統計指標」

1世帯あたり自動車数（令和2年3月31日現在）

**全国第2位の多さ 2.2341台**

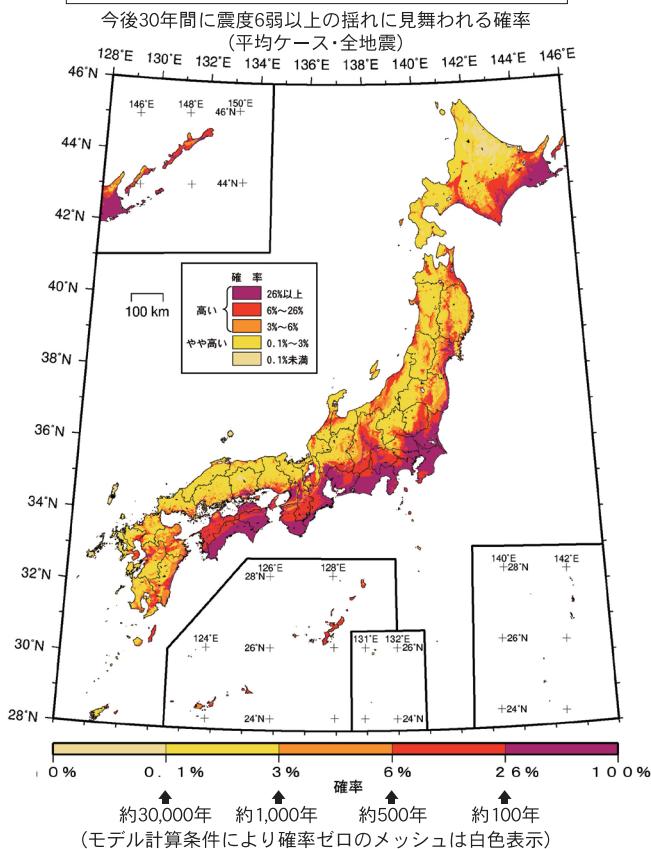


資料：国土交通省東北運輸局山形運輸支局「自動車の普及状況」

## BCP対策に有利な山形

### 地震

#### 確率論的地震動予測地図（確率の分布）



今後30年間に震度○○以上の揺れに見舞われる確率が0.1%、3%、6%、26%であることは、ごく大まかには、それぞれ約30,000年、約1,000年、約500年、約100年に1回程度震度○○以上の揺れが起り得ることを意味しています。

資料:「全国地震予測地図2020年版」(地震調査研究推進本部)

#### 震度別地震回数表

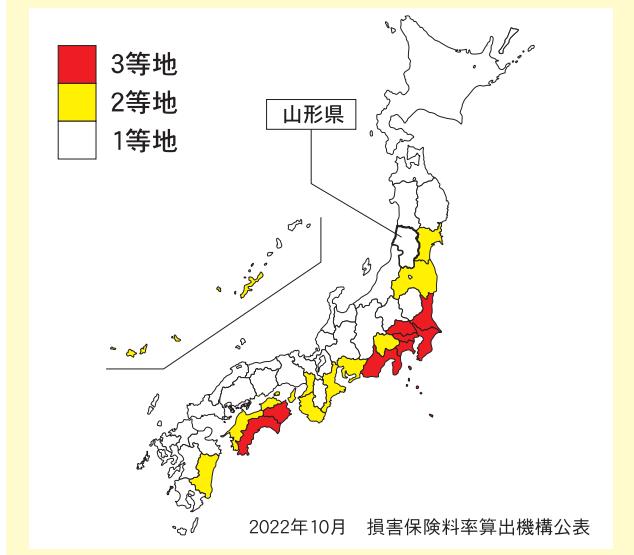
震度	5弱	5強	6弱	6強	7	合計
山形県	7	3	1	0	0	11
青森県	19	6	2	0	0	27
岩手県	26	5	5	1	0	37
宮城県	34	7	4	5	1	51
秋田県	7	6	0	0	0	13
福島県	53	9	2	3	0	67
新潟県	19	11	5	4	1	40
東京都	55	13	8	0	0	76

注) 1996年9月以前の震度5、震度6はそれぞれ、震度5弱、震度6弱として扱っています。

資料: 気象庁ホームページ (検索期間 1923/4/1～2024/3/31)

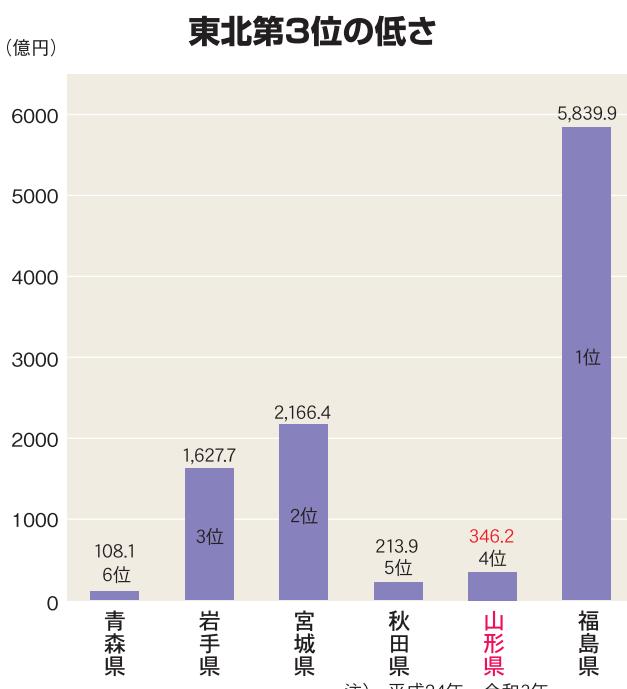
#### 地震保険等地区分

山形県の地震保険基準料率の等地区分は最も低い1等地です。



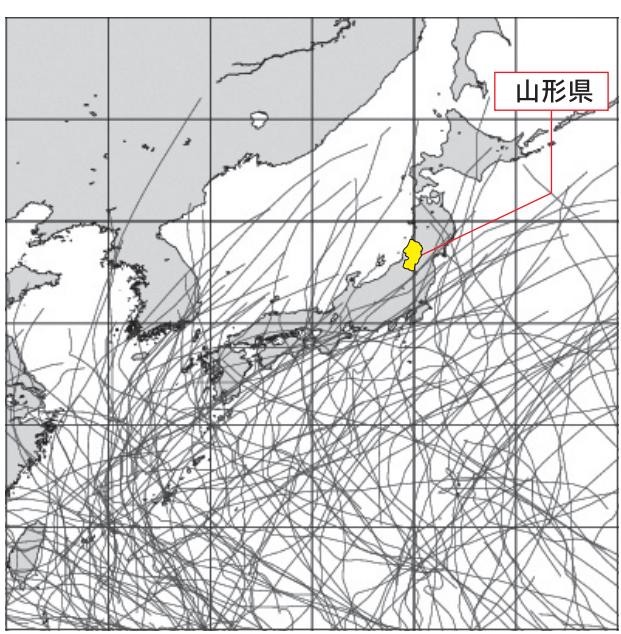
### 水害

#### 過去10年間の東北6県別水害被害額



資料:国土交通省「水害統計」 ※一般資産等被害額

#### 日本周辺の過去10年間の台風の経路



# 優遇制度

## 山形県企業立地関係補助金

多様な投資形態に対応した補助制度

### 1 山形県企業立地促進補助金

新設：県の誘致により、県外から新たに進出する企業で（拠点工業団地を除く）、以下の要件を満たす場合

増設：既に県内に工場を有する製造業等を営む企業で、事業の高度化等のため新たに工場等を設置し、必要な固定資産を取得する場合

区分	地域	業種 <sup>*1</sup>	投資・雇用の規模に関する補助要件		工事着手・操業期限 (新設：用地取得後／増設：指定後)		補助率 <sup>*4</sup>	補助限度額	
			投資規模 (土地を除く固定資産取得額)	雇用規模 <sup>*2</sup>	工事着手	操業			
新設	大規模	県全域	製造業等	100億円以上	300名以上	3年以内	5年以内	10%	50億円
	一般	県全域	製造業等	3億円以上 (空工場：5,000万円以上)	10名以上	1年以内	2年以内 (投資規模15億円超は3年以内)	20%	3億円
	本社機能移転	県全域	—	5,000万円以上 (空オフィス等：2,500万円以上)	10名以上	—	2年以内 (投資規模15億円超は3年以内)	15億円まで：20% 15億円超部分：5%	10億円
	拠点工業団地	鳥海南工業団地	製造業等	1億円以上 (空工場：5,000万円以上)	—	3年以内	5年以内	10%	3億円
	賃貸・リース	県全域	製造業等	—	10名以上	—	—	20% <sup>*5</sup>	—
	研究開発	県全域	製造業	3,000万円以上 (空工場：1,500万円以上)	5名以上	1年以内	2年以内	25%	10億円
	物流関連施設 (一般)	県全域	製造業、物流 関連事業で、 物流関連施 設を設置	3億円以上 (空工場：5,000万円以上)	5名以上	1年以内	2年以内 (投資規模15億円超は3年以内)	15億円まで：15% 15億円超部分：5%	3億円
	物流関連施設 (賃貸・リース)				20名以上	1年以内	2年以内 (投資規模15億円超は3年以内)	15億円まで：15% 15億円超部分：5%	10億円
増設	大規模	県全域	製造業等	30億円以上	30名以上	1年以内	3年以内	20億円まで：10% 20億円超部分：5%	4億円
	一般		製造業等	5億円以上	10名以上	1年以内	2年以内 (投資規模15億円超は3年以内)	5%	0.5億円
	立地後 5年以内				20名以上	1年以内	2年以内 (投資規模15億円超は3年以内)	5%	1.5億円
	賃貸・リース		製造業等	3億円以上	10名以上	1年以内	2年以内 (投資規模15億円超は3年以内)	20%	3億円
	研究開発				20名以上	1年以内	2年以内 (投資規模15億円超は3年以内)	15億円まで：20% 15億円超部分：5%	10億円
	物流関連施設 (一般)	県全域	製造業等	1,500万円以上	3名以上	1年以内	2年以内	5%	1億円
	物流関連施設 (賃貸・リース)		製造業(物流企 業除く)で、物流 関連施設を設置	5億円以上	10名以上	1年以内	2年以内	5%	1億円
	—		—	—	10名以上	—	—	5%	—

\*1 「製造業等」とは、製造業及び植物工場をいう。 \*2 「雇用規模」は、新規地元常用雇用者（山形県外からの人員移転を含む）をいう。（新規地元常用雇用者：雇用保険法上の一般被保険者かつ、県内に住所を有し、雇用期間の定めのない者） \*3 建設着手から起算する。 \*4 下記上乗せ補助に該当する企業は、補助率を上乗せする。

\*5 操業後5年間を対象とする。リースの場合は、5カ年を限度にリース期間の1/2の期間を対象とする。

区分	地域	対象	内容	補助率	補助限度額
新設	鳥海南 工業団地	新設のうち「大規模」、「一般」、「拠点工業団地」、「賃貸・リース」及び「研究開発」に該当する企業	2ha以上の用地取得	1.2倍	対象の各限度額による
			5ha以上の用地取得	1.5倍	
			10ha以上の用地取得	2倍	
増設	県全域	新設に該当する企業	雪対策への支援	5%	対象の各限度額による
			消雪設備	100%	
			除雪設備	50%	
上乗せ補助	県全域	新設のうち「本社機能移転」に該当する企業	自社の複数の社員が居住するための社員寮の設置に要する経費	20%	1,200万円 <sup>*1</sup>
上乗せ補助	県全域	新設のうち「大規模」及び「一般」に該当するバイオ関連企業	補助率上乗せ	5%	対象の各限度額による
上乗せ補助	県全域	新設のうち「大規模」及び「一般」に該当する有機エレクトロニクス関連企業	補助率上乗せ	5%	対象の各限度額による
上乗せ補助	県全域	新設のうち「大規模」及び「一般」に該当する自動車関連企業	補助率上乗せ	5%	対象の各限度額による
上乗せ補助	酒田臨海 工業団地	新設のうち「大規模」、「一般」、「賃貸・リース」及び「研究開発」に該当するリサイクル関連企業	補助率上乗せ	5%	対象の各限度額による
上乗せ補助	東北管内	新設のうち「大規模」、「一般」及び「賃貸・リース」に該当する企業 <sup>*2</sup>	自動車用部品の輸送拠点として設置する、デポの賃貸・リースに要する経費 <sup>*3</sup>	20%	—

\*1 消雪面積が800m<sup>2</sup>を超えるかつ1,200万円以上の場合は、別途加算される場合あり。 \*2 操業後1年以内にデポを操業するもの。

\*3 操業後5年間を対象とする。リースの場合は、5カ年を限度にリース期間の1/2の期間を対象とする。 \*4 増設（一般）について、倍額とする。

◆補助金の交付を受けるには、あらかじめ知事の指定を受ける必要がありますので、事前にご相談ください。

◆上記のほかにも要件がありますので、詳細はお問い合わせください。

## 2 山形県ソフト産業立地促進補助金

対象業種：IT業(ソフトウェア業、情報処理・提供サービス業、インターネット付随サービス業)  
 デザイン業  
 コールセンター業(バックオフィス業務を含む)

区分	業種	投資・雇用の規模に関する補助要件		対象経費				補助限度額
		投資規模 (土地を除く固定資産取得額)	雇用規模 <sup>※2</sup>	雇用奨励金 (1名あたり)	事務所賃借料	初期費用	固定資産取得	
新設	賃借	IT業 デザイン業	—	5名以上 <small>注：IT業向け特例に該当する場合は1名以上</small>	IT業：60万円 デザイン業： 30万円	1/2 (開設後5年間)	1/2 (IT業のみ)	— 3億円
	取得 <sup>※1</sup>	IT業 デザイン業 コールセンター業	1億円以上	5名(コールセンター業について10名)以上 <small>注：IT業向け特例に該当する場合は1名以上</small>	IT業：60万円 デザイン業、 コールセンター業： 30万円	—	— 20% (15億円以下) 5% (15億円超)	10億円
増設	賃借	IT業 デザイン業	—	5名以上	30万円	1/2 (開設後1年間)	— —	1億円
	取得 <sup>※3</sup>	IT業 デザイン業 コールセンター業	5億円以上	5名(コールセンター業について10名)以上	30万円	—	— 5%	1億円
	賃借 (操業後5年以内)	IT業 デザイン業	—	5名以上 <small>注：IT業向け特例に該当する場合は1名以上</small>	IT業：60万円 デザイン業： 30万円	1/2 (開設後5年間)	1/2 (IT業のみ)	— 3億円
	取得 (操業後5年以内) <sup>※3</sup>	IT業 デザイン業 コールセンター業	1億円以上	5名(コールセンター業について10名)以上 <small>注：IT業向け特例に該当する場合は1名以上</small>	IT業：60万円 デザイン業、 コールセンター業： 30万	—	— 20% (15億円以下) 5% (15億円超)	10億円

注) IT業向け特例は別途要件がありますので、詳細はお問い合わせください。

※1 土地取得から1年以内の着手、2年(土地を除く固定資産取得額が15億円を超える場合は3年)以内の操業が条件。

※2 「雇用規模」は、新規地元常用雇用者(人員移転を含む)をいう。(新規地元常用雇用者:雇用保険法上の一般被保険者かつ、県内に住所を有し、雇用期間の定めのない者)

※3 知事の指定を受けた日から1年以内の着手、2年以内の操業が条件。

## 山形県立地環境調査支援事業費補助金

対象業種	ソフトウェア業、デザイン業、情報処理・提供サービス業、インターネット付隨サービス業 (現在の業種が異なる場合でも、上記業種の新規立地を検討している場合は対象とする)		
対象地域	県全域		
対象経費 <sup>※1</sup>	往復交通費	往復航空費又は往復鉄道賃の実費 <sup>※2</sup> (観察者の勤務地最寄りの空港又は駅と山形県内の空港又は駅との往復区間)	宿泊パックを利用する場合 利用料実費とする (ただし、往復航空費又は往復鉄道賃と宿泊以外の費用は除く)
	宿泊費	山形県内の宿泊施設における宿泊費及び宿泊に伴う諸雑費(シーツ代等)	
	会議室等利用料	備品使用量等のオプション利用料を除く施設利用料及び会議室利用料	

注)活用の際には、山形県担当職員等と事前に訪問先の調整が必要となりますので、ご連絡ください。

※1 飲食費及び上記以外の交通費については補助の対象外。

※2 片道区間で航空機と鉄道を併用する場合は、航空賃と鉄道賃のいずれか高価な交通費を対象とする。

## 山形県商工業振興資金(産業立地促進資金)

全国トップクラスの低利、長期の資金により県内に進出する企業を支援

◇貸付対象 次のいずれかに該当する方で県及び市町村の認定を受けた方

- ①県内の工業団地等に立地しようとする方
- ②県内に大規模な立地を行う方、又は県外企業(製造業又は山形県企業立地促進補助金を受けて物流関連施設を立地しようとする方  
若しくは本社機能を移転する方に限る)で県内に新たに立地しようとする方
- ③県内工業団地等に立地している方又は②を利用して大規模に立地した方であって増設・増築を行う方

◇融資対象 設備資金、運転資金

融資利率 (変動)	0.7 %	限度額	20 億円	融資期間	設備資金 20 年以内(据置3年以内) 運転資金 15 年以内(据置3年以内)
※市町村によって額が異なります。					

◆県及び立地予定の市町村の認定を受け、県内金融機関から融資を受ける必要があります。

◆市町村における融資制度によっては、県の認定要件、融資限度額等が異なる場合があります。

# 山形県企業立地のご案内サイト YAMAGATA QUEST!!

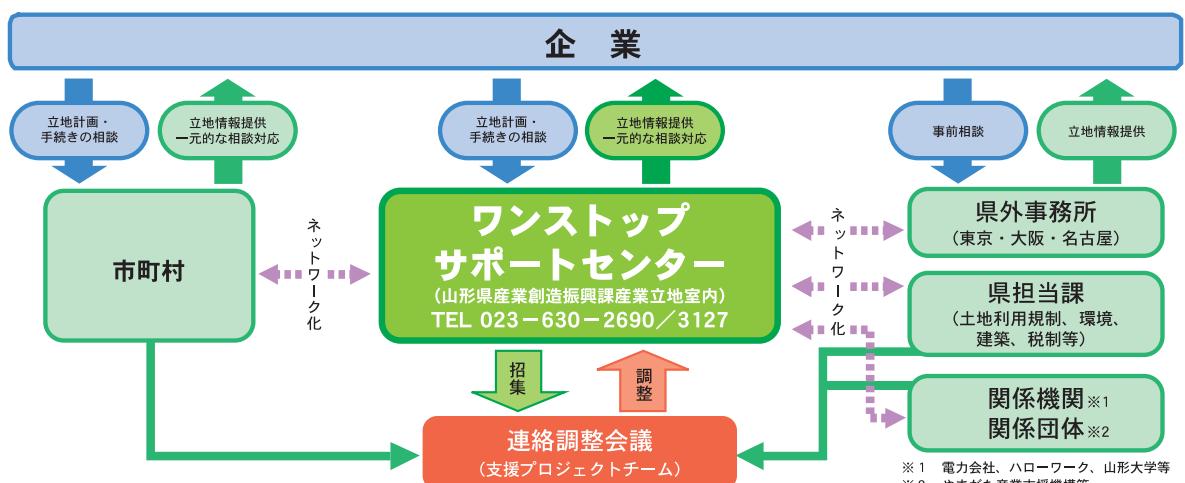


## 山形県産業労働部産業創造振興課産業立地室

〒990-8570 山形県山形市松波2-8-1  
TEL.023(630)2690 FAX.023(630)2128  
<https://www.pref.yamagata.jp/>  
ysangyo@pref.yamagata.jp

### ワンストップサポートセンター

企業からの企業立地に係る各種相談に、一元的かつ総合的な対応を行うために、県関係課並びに市町村、  
関係機関・団体をネットワーク化した「ワンストップサポートセンター」を設置しております。



### 山形県東京事務所企業振興課

〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館13階  
TEL.03(5212)9026  
FAX.03(5212)9028  
ytokyo@pref.yamagata.jp



### 山形県大阪事務所

〒530-0001  
大阪市北区梅田1-3-1-800  
大阪駅前第一ビル8階  
TEL.06(6341)6816  
FAX.06(6341)1491  
yosaka@pref.yamagata.jp



### 山形県名古屋事務所

〒460-0008  
名古屋市中区栄4-1-1  
中日ビル5階  
TEL.052(265)9841  
FAX.052(265)9842  
ynagoya@pref.yamagata.jp

